
三田市
ケアマネジャー調査
報告書

令和5年8月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 留意点	1
2. ケアマネジャー自身のことについて	2
(1) 性別・年齢	2
(2) ケアマネジャーとしてのスキル	3
3. 利用者の状況について	5
(1) 担当している利用者数	5
(2) 生活の維持が困難な利用者	10
(3) 利用者からの苦情や相談	11
(4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例	12
4. サービス・社会資源について	14
(1) ケアプラン作成時の困りごと	14
(2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況	15
(3) インフォーマルなサービスの活用	34
(4) 利用者が知りたいと感じていること	36
(5) 認知症高齢者への支援	37
(6) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法	38
(7) 市の高齢者支援について	39
5. 各所との連携について	40
(1) わからないことや困ったこと	40
(2) 各所との連携	42

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、令和6年度から令和8年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン21）」の策定を行うにあたって、ケアマネジャー本人や担当されている要介護者を取り巻く現状について把握するために実施しました。

(2) 調査の実施について

調査種類	ケアマネジャー調査
対象者	市内の居宅介護支援事業所・地域包括支援センターに所属するケアマネジャー103名
実施期間	令和5年5月12日（金）～5月26日（金）
実施方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回収
回収状況	配布数：103件 有効回収数：71件（郵送：62件、WEB：9件） 有効回答率：68.9%

(3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「N」は「Number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer)、5LA (5 Limited Answer)と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

2. ケアマネジャー自身のことについて

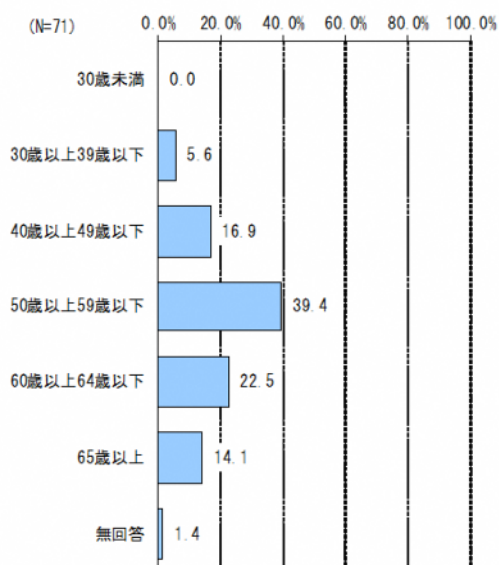
(1) 性別・年齢

●問2 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

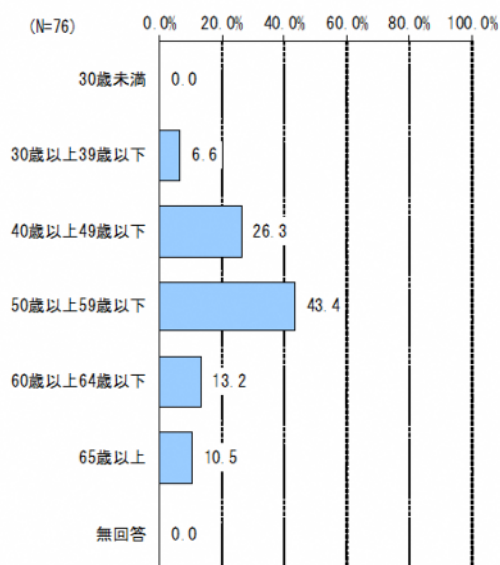
- 年齢について、「50歳以上59歳以下」が39.4%で最も多く、次いで「60歳以上64歳以下」が22.5%、「40歳以上49歳以下」が16.9%となっています。
- 前回調査と比べると「60歳以上64歳以下」が多くなっています。

【年齢】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



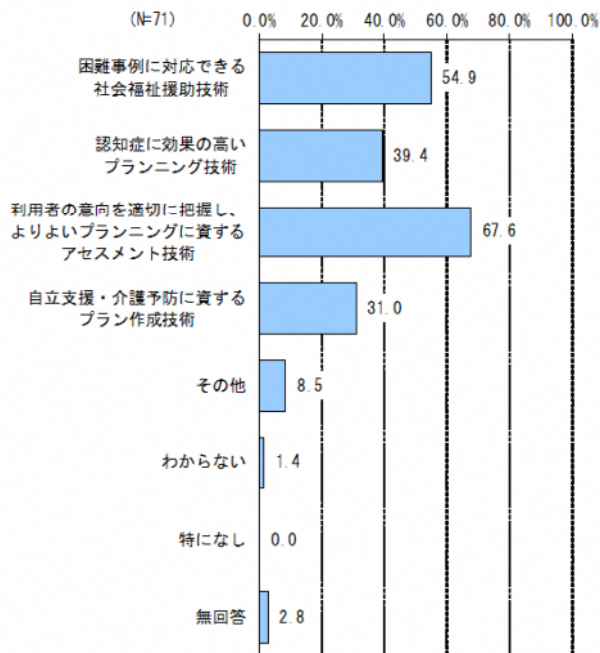
(2) ケアマネジャーとしてのスキル

- 問3 あなたの日頃の業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

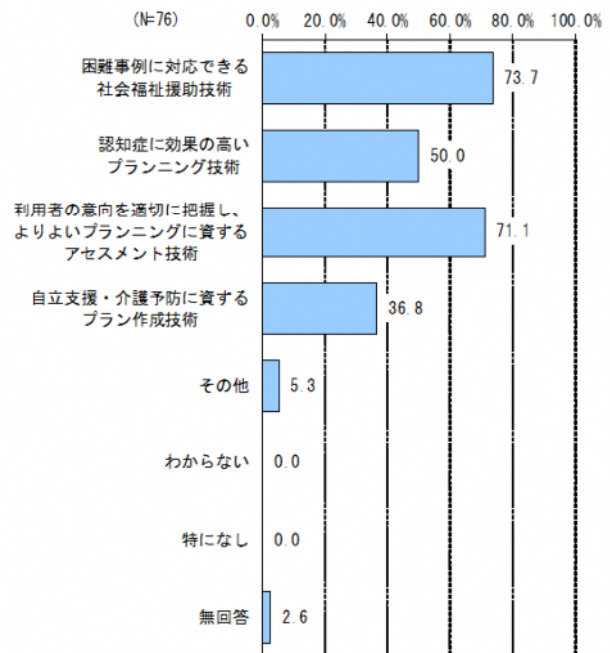
- 向上する必要がある専門的技術について、「利用者の意向を適切に把握し、よりよいプランニングに資するアセスメント技術」が67.6%で最も多く、次いで「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が54.9%、「認知症に効果の高いプランニング技術」が39.4%となっています。
- 前回調査と比べると、ほとんどの項目で少なくなっています。

【向上する必要がある専門的技術 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



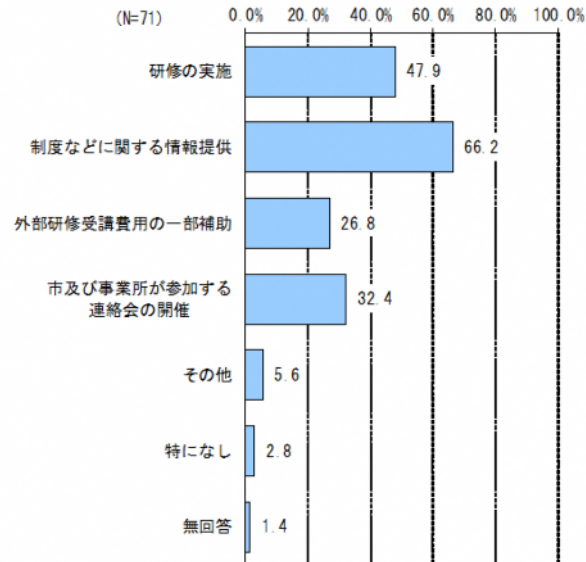
[前回調査 (R2 年度)]



- 問4 ケアマネジャーの「専門的技術」の向上のために市に期待する役割を次の中から選んでください。(○は3つまで)

○ 「専門的技術」の向上のために市に期待する役割について、「制度などに関する情報提供」が66.2%で最も多く、次いで「研修の実施」が47.9%、「市及び事業所が参加する連絡会の開催」が32.4%となっています。

【「専門的技術」の向上のために市に期待する役割 (3LA)】



3. 利用者の状況について

(1) 担当している利用者数

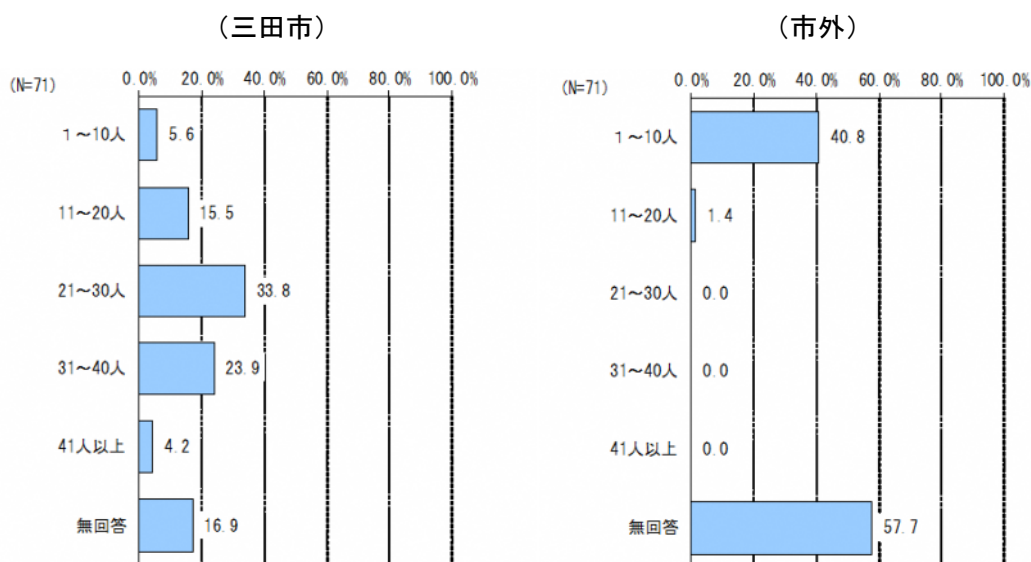
- 問 5 あなたが担当している利用者数などについて伺います。担当する利用者がない場合は「0」と記入してください。(市内と市外についてそれぞれ人数を記入)(令和5年4月1日時点) ※継続的に関わっている利用者数を記入してください(短期的入院者等も含む)。

<介護サービス計画>

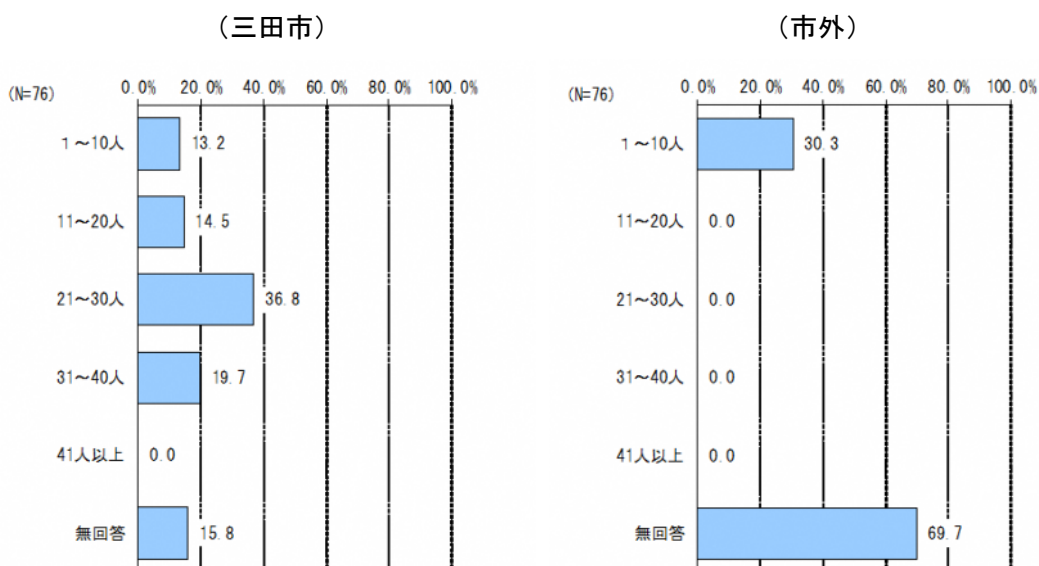
- 介護サービス計画の担当利用者数について、市内では「21～30人」が33.8%で最も多く、次いで「31～40人」が23.9%となっています。市外では「1～10人」が40.8%となっています。
- 前回調査と比べると、市内では31人以上、市外では11人以上が少なく、「1～10人」が多くなっています。

【担当利用者数 介護サービス計画】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



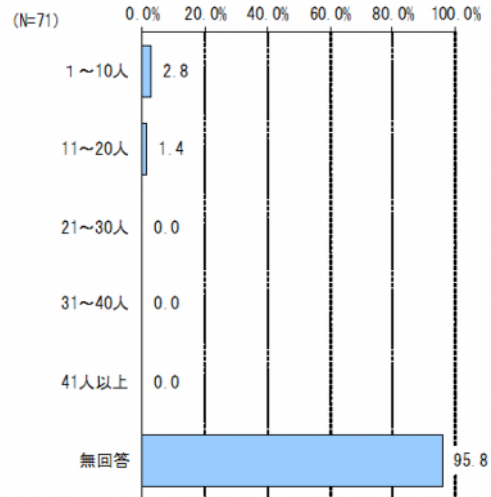
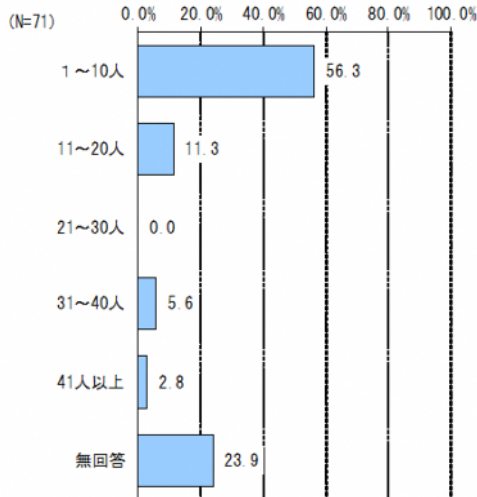
<介護予防サービス計画>

- 介護予防サービス計画の担当利用者数について、市内では「1～10人」が56.3%で最も多く、次いで「11～20人」が11.3%となっています。市外では「1～10人」が2.8%となっています。
- 前回調査と比べると、市内では「1～10人」が少なく、31人以上が多くなっています。

【担当利用者数 介護予防サービス計画】

(三田市)

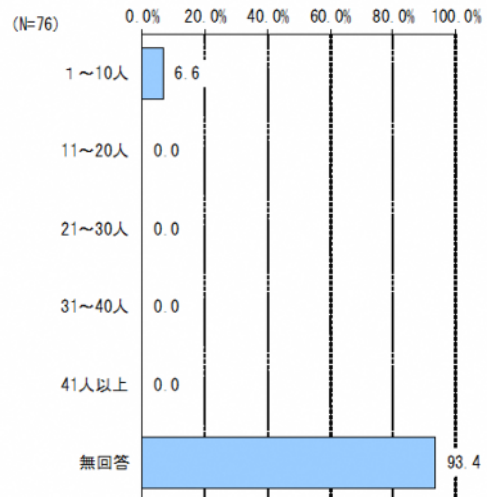
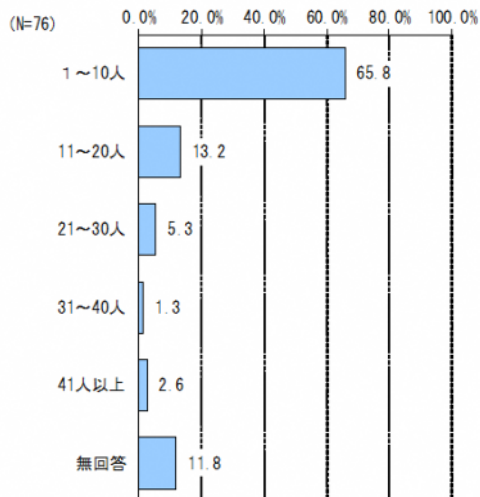
(市外)



[前回調査 (R2 年度)]

(三田市)

(市外)



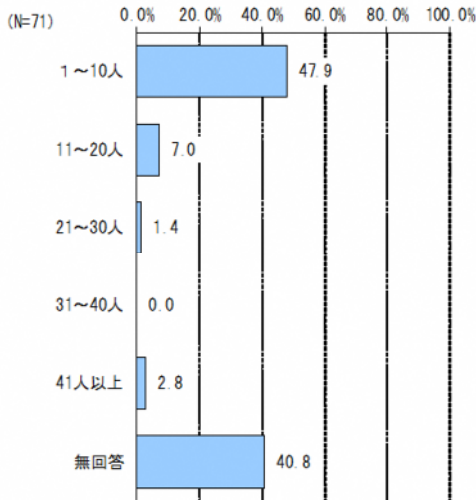
<介護予防ケアマネジメント>

- 介護予防ケアマネジメントの担当利用者数について、市内では「1～10人」が47.9%で最も多く、次いで「11～20人」が7.0%となっています。市外では「1～10人」が4.2%となっています。
- 前回調査と比べると、市内では11人以上が少なく、「1～10人」が多くなっています。

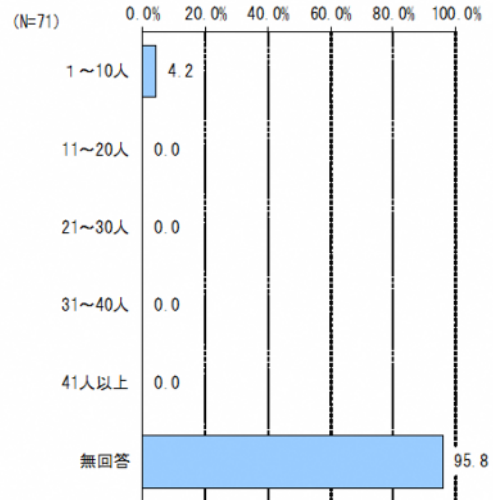
【担当利用者数 介護予防ケアマネジメント】

[今回調査 (R5 年度)]

(三田市)

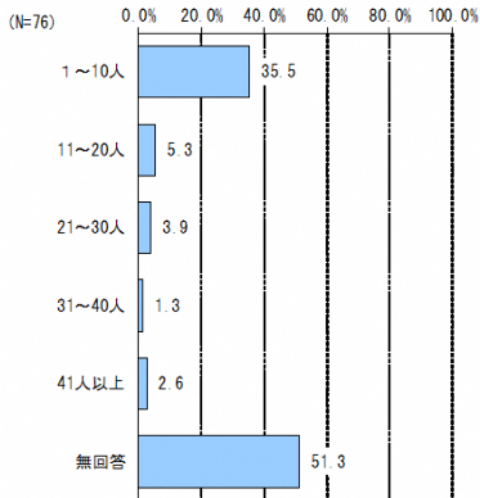


(市外)

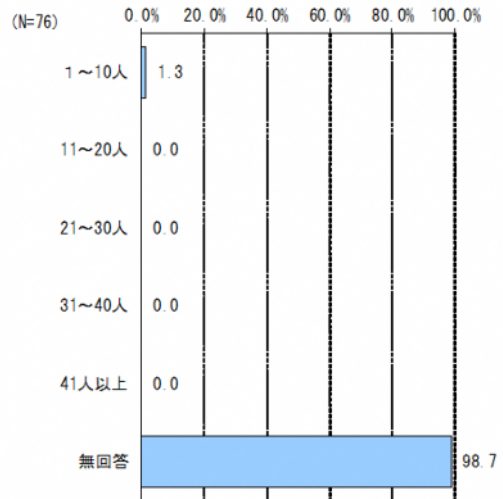


[前回調査 (R2 年度)]

(三田市)



(市外)

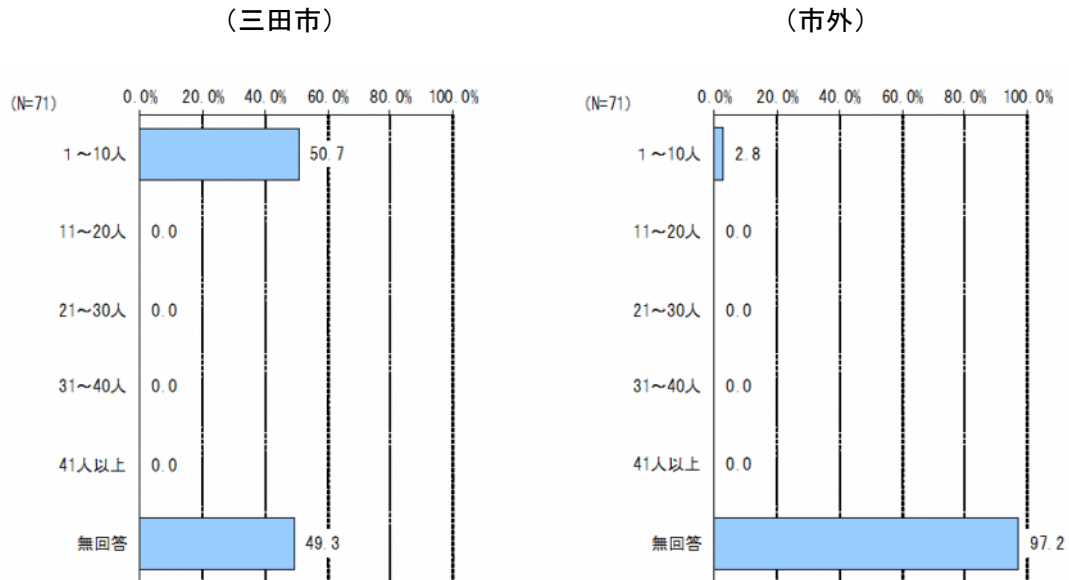


<入院等の理由により、計画策定を保留中>

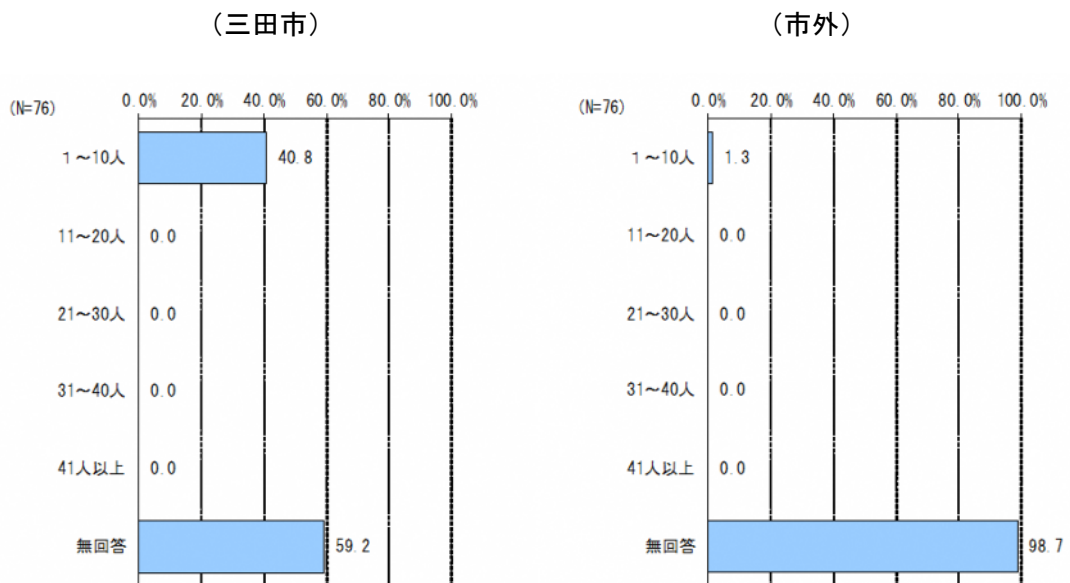
- 計画策定を保留中の担当利用者数について、市内では「1～10人」が50.7%となっています。市外では「1～10人」が2.8%となっています。
- 前回調査と比べると、市内では「1～10人」が多くなっています。

【担当利用者数 計画策定保留中】

[今回調査 (R5 年度)]



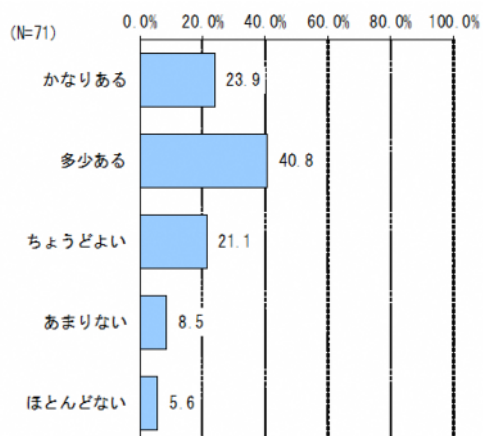
[前回調査 (R2 年度)]



●問6 あなたが担当している利用者数について、負担感（多すぎると感じること）がどの程度ありますか。（○は1つ）

- 利用者数の負担感について、「多少ある」が40.8%で最も多く、次いで「かなりある」が23.9%となっています。
- 「かなりある」「多少ある」を合わせた“負担感がある”は64.7%となっています。

【利用者数の負担感】

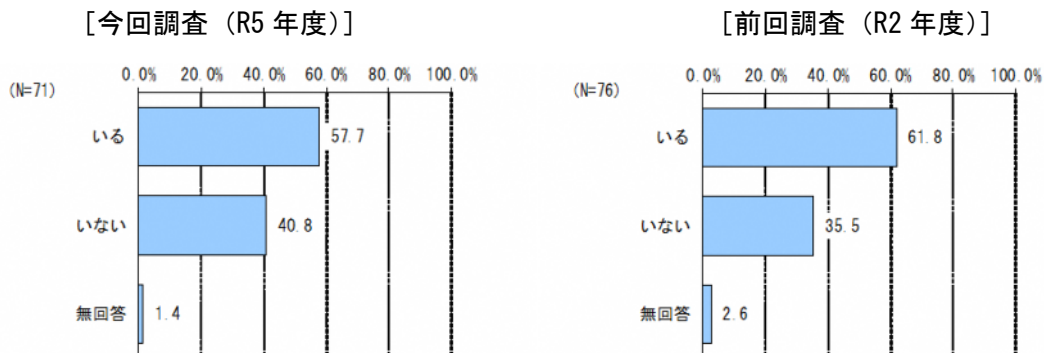


(2) 生活の維持が困難な利用者

●問7 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はいますか。(○は1つ)

○ 生活の維持が困難な利用者について、「いる」が57.7%となっています。

【生活の維持が困難な利用者】

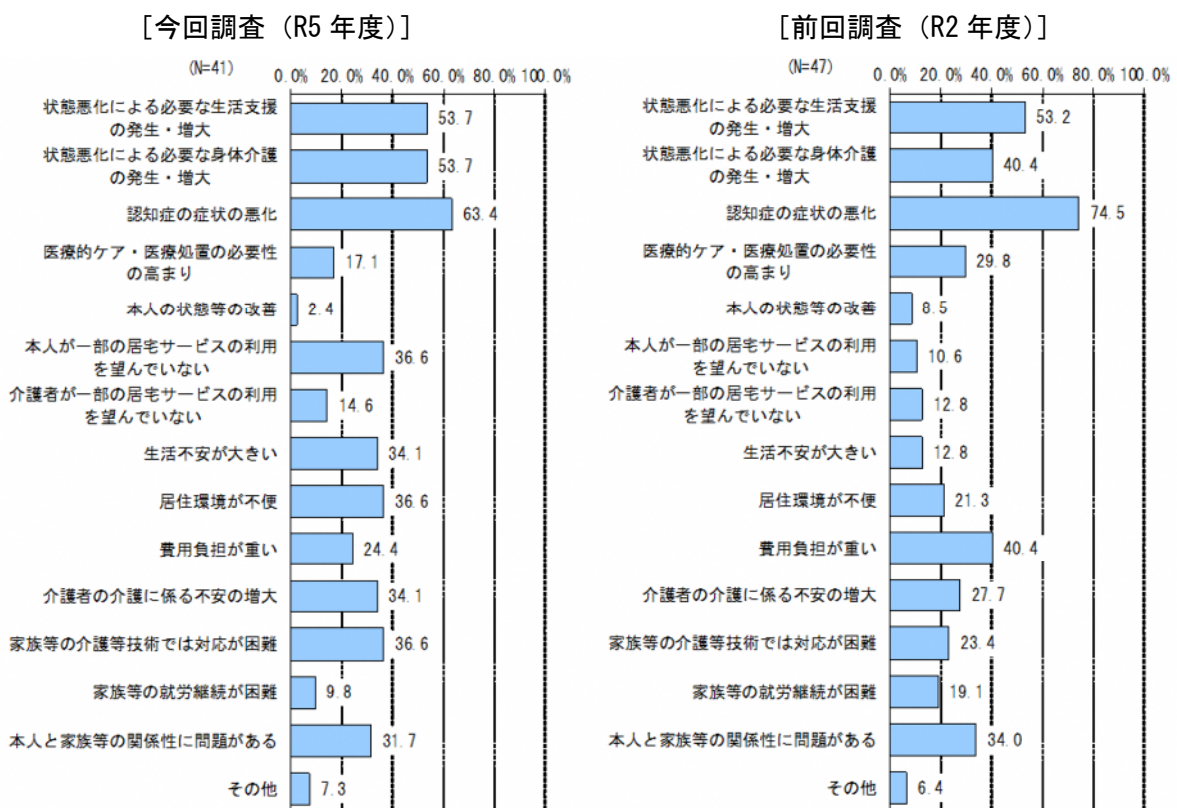


●問7-1 問7で「1. いる」を選んだ方にお伺いします。生活が難しくなっている理由は何ですか。(○はいくつでも)

○ 生活の維持が困難な理由について、「認知症の症状の悪化」が63.4%で最も多く、次いで「状態悪化による必要な生活支援の発生・増大」「状態悪化による必要な身体介護の発生・増大」が53.7%となっています。

○ 前回調査と比べると、「本人が一部の居宅サービスの利用を望んでいない」「生活不安が大きい」で20ポイント以上多くなっています。

【生活の維持が困難な理由 (MA)】



(3) 利用者からの苦情や相談

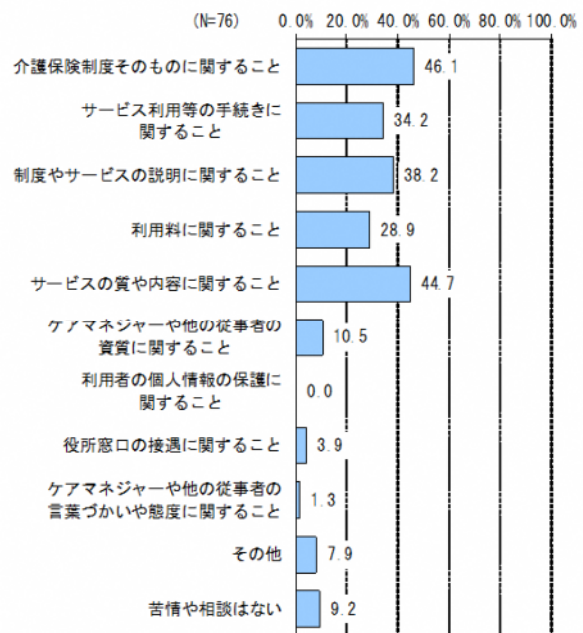
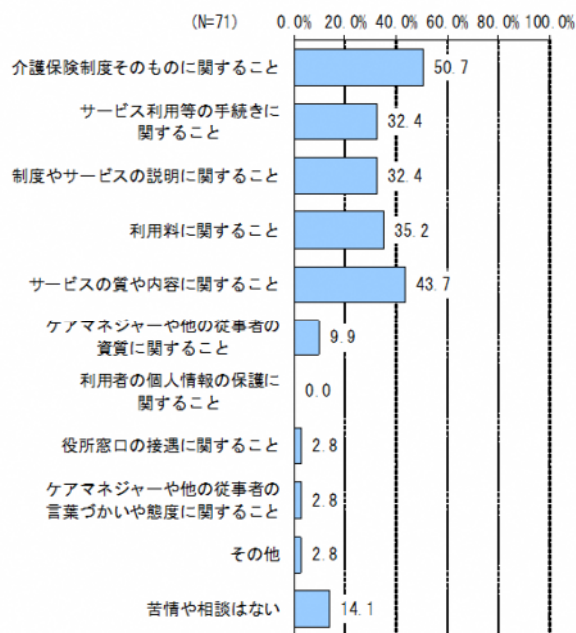
●問 8 利用者や家族からあげられる苦情や相談の内容としては、どのようなものがありますか。(5つまで○)

- 利用者や家族からの苦情や相談について、「介護保険制度そのものに関すること」が50.7%で最も多く、次いで「サービスの質や内容に関すること」が43.7%、「利用料に関すること」が35.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「制度やサービスの説明に関すること」で5ポイント以上少なく、「利用料に関すること」で5ポイント以上多くなっています。

【利用者や家族からの苦情や相談 (5LA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]

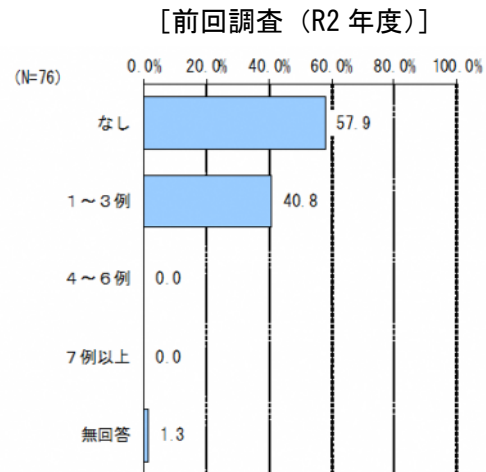
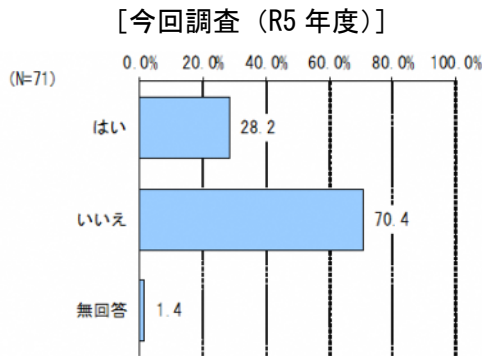


(4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例

- 問9 あなたがこの一年間に担当した中で、虐待又は虐待の疑いがあると思われた三田市の利用者はいましたか。(○は1つ)

○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者について、「はい」が28.2%となっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者の有無】

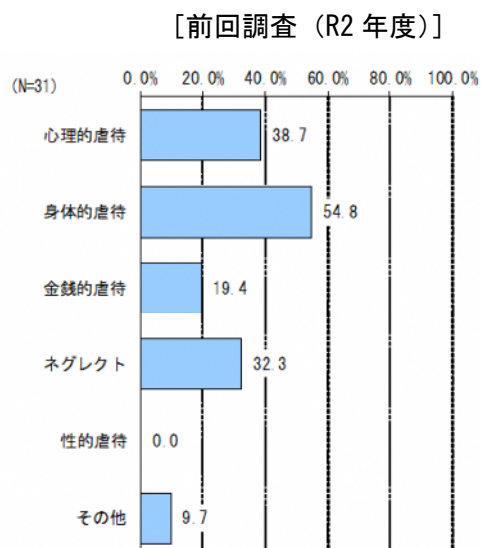
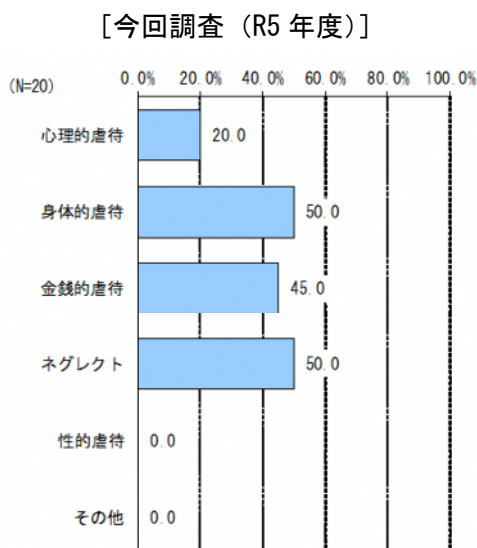


※前回調査は過去5年間について

- 問9-1 問9で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例はどのような種別でしたか。(○はいくつでも)

○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例について、「身体的虐待」「ネグレクト」が50.0%で最も多く、次いで「金銭的虐待」が45.0%となっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例 (MA)】

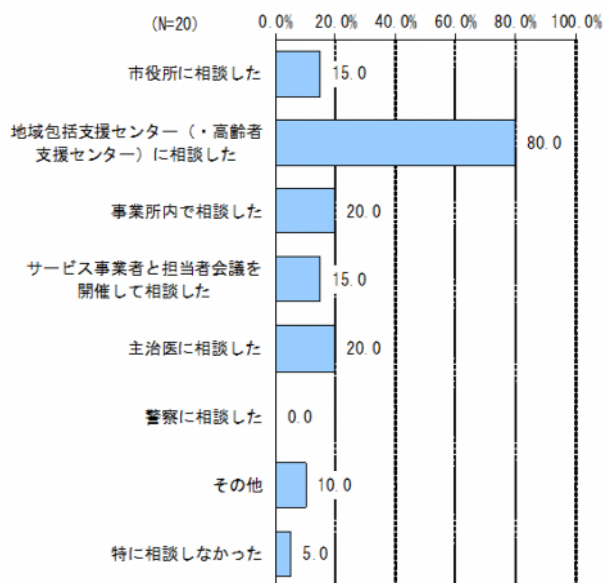


●問9-2 問9で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。その対応として、どこに相談しましたか。(〇はいくつでも)

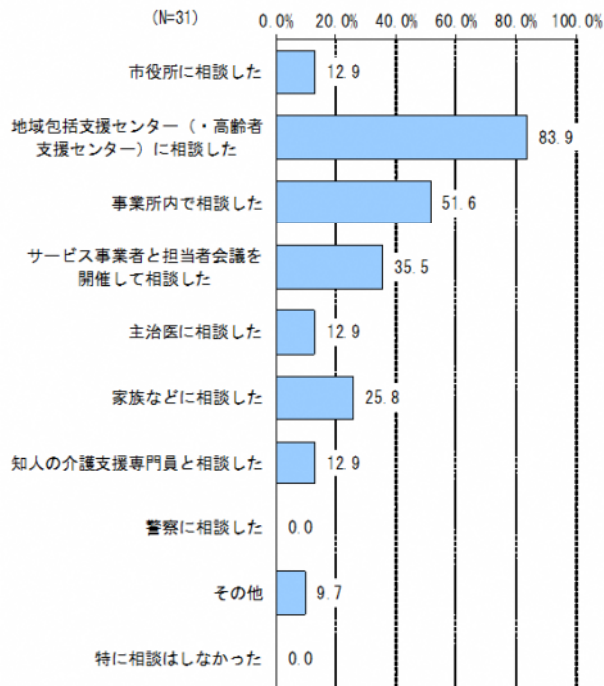
○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先について、「地域包括支援センター（・高齢者支援センター）に相談した」が80.0%で最も多く、次いで「事業所内で相談した」「主治医に相談した」が20.0%となっています。一方で、「特に相談はしなかった」が5.0%となっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



4. サービス・社会資源について

(1) ケアプラン作成時の困りごと

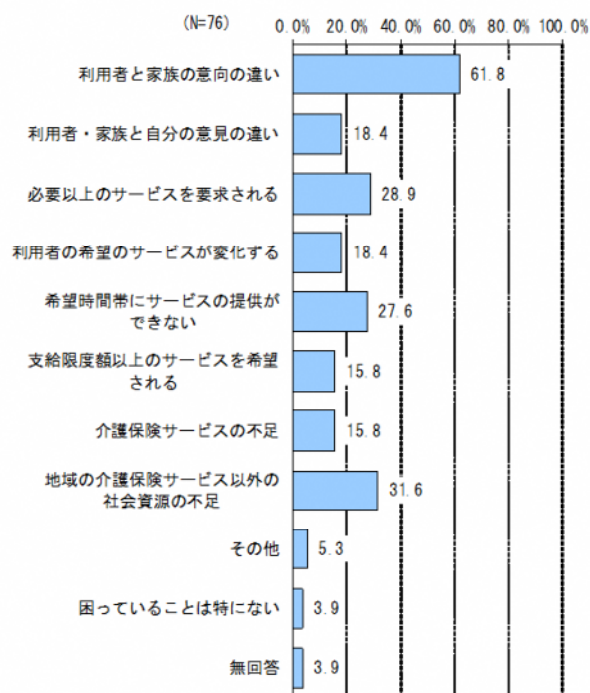
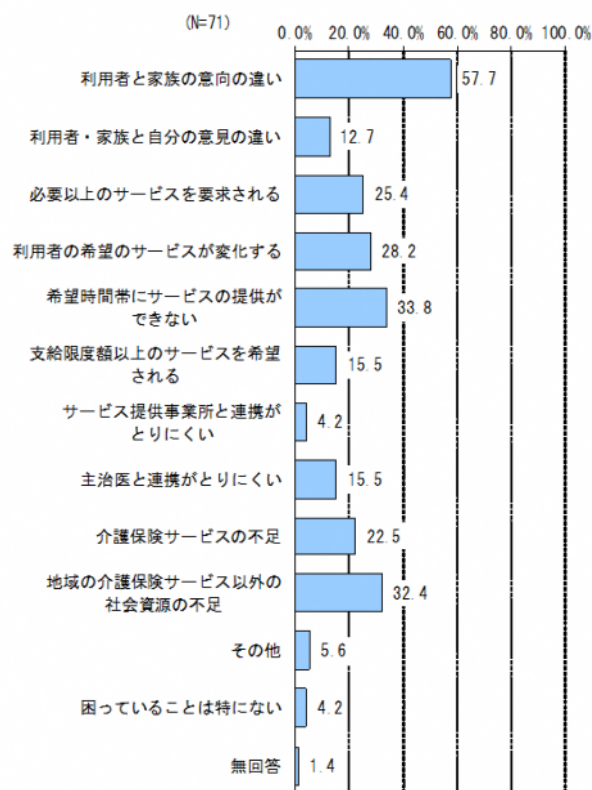
●問 10 あなたはケアプランを作成するうえで困ることはありますか。(○はいくつでも)

- ケアプラン作成時の困りごとについて、「利用者と家族の意向の違い」が57.7%で最も多く、次いで「希望時間帯にサービスの提供ができない」が33.8%、「地域の介護保険サービス以外の社会資源の不足」が32.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用者の希望のサービスが変化する」「希望時間帯にサービスの提供ができない」「介護サービスの不足」で5ポイント以上多くなっています。

【ケアプラン作成時の困りごと (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



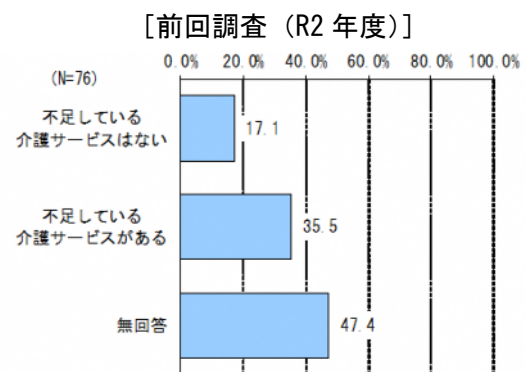
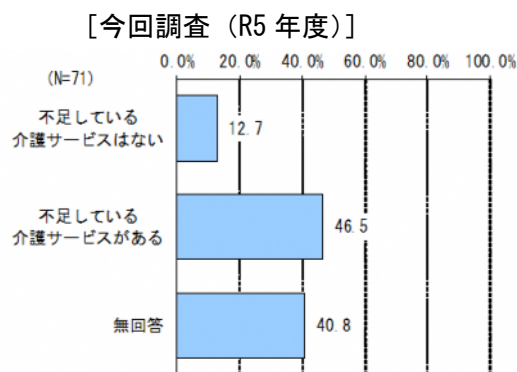
(2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況

- 問 11 三田市に不足しているサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号をご記入ください。(各圏域3つまで)
- 問 12 介護保険サービス以外に充実が必要なサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号をご記入ください。(各圏域3つまで)

<三田・三輪南圏域>

- 三田・三輪南圏域では「不足している介護サービスがある」が 46.5%となっており、前回調査と比べると 11.0 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問入浴介護」(19.7%) が最も多く、前回調査 (2.6%) と比べて多くなっています。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(12.7%) 「夜間対応型訪問介護」(11.3%) は前回調査に引き続き多く、「看護小規模多機能型居宅介護」(11.3%) は前回調査と比べて多くなっています。

【介護サービス】



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	14	19.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	8	11.3
訪問介護	7	9.9
居宅介護支援	4	5.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
介護老人保健施設	2	2.8
居宅療養管理指導	1	1.4
通所介護	1	1.4
通所リハビリテーション	1	1.4

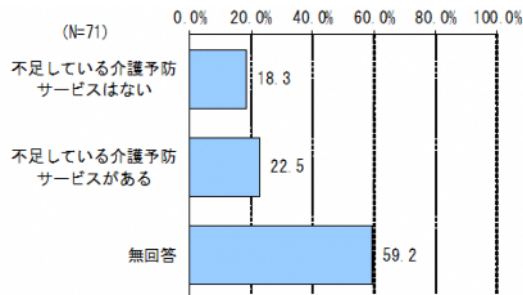
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	11.8
訪問リハビリテーション	8	10.5
夜間対応型訪問介護	7	9.2
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	5.3
看護小規模多機能型居宅介護	4	5.3
介護老人保健施設	4	5.3
居宅療養管理指導	3	3.9
認知症対応型通所介護	3	3.9
小規模多機能型居宅介護	3	3.9
認知症対応型共同生活介護	3	3.9
介護老人福祉施設	3	3.9
訪問入浴介護	2	2.6
通所リハビリテーション	2	2.6
特定施設入居者生活介護	2	2.6
訪問介護	1	1.3
通所介護	1	1.3
介護療養型医療施設・介護医療院	1	1.3

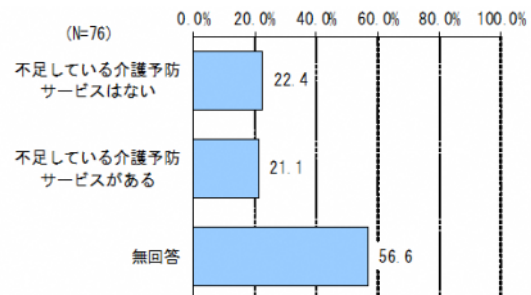
- 三田・三輪南圏域では「不足している介護予防サービスがある」が22.5%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防支援」(8.5%)が最も多く、前回調査(1.3%)と比べて多くなっています。「介護予防認知症対応型通所介護」(5.6%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	6	8.5
介護予防認知症対応型通所介護	4	5.6
介護予防訪問入浴介護	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
介護予防特定施設入居者生活介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防通所リハビリテーション	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	1.4

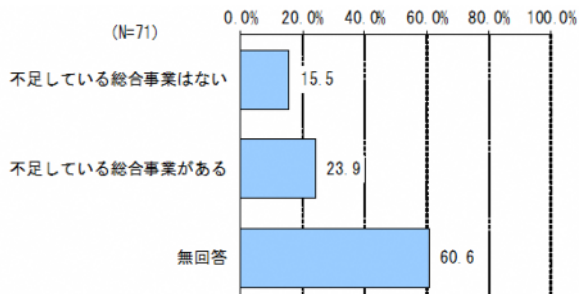
(N=76)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	6	7.9
介護予防認知症対応型通所介護	5	6.6
介護予防訪問リハビリテーション	4	5.3
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	3.9
介護予防訪問入浴介護	2	2.6
介護予防特定入居者生活介護	2	2.6
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.6
介護予防訪問看護	1	1.3
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	1	1.3
介護予防支援	1	1.3

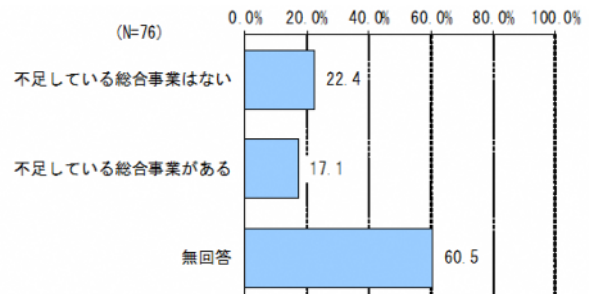
- 三田・三輪南圏域では「不足している総合事業がある」が23.9%となっており、前回調査と比べると6.8ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスで最も多い「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(9.9%)は前回調査(2.6%)と比べて多く、「訪問型サービスB(生活支援型)」(9.9%)は前回調査に引き続き多くなっています。次ぐ「訪問型サービスA(基準緩和型)」(7.0%)は前回調査(1.3%)と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	7	9.9
訪問型サービスB(生活支援型)	7	9.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	5	7.0
通所型サービスA(基準緩和型)	3	4.2
通所型サービスB(生活支援型)	3	4.2
訪問型サービスC(短期集中型)	2	2.8
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	2	2.8
通所型サービスC(短期集中型)	1	1.4

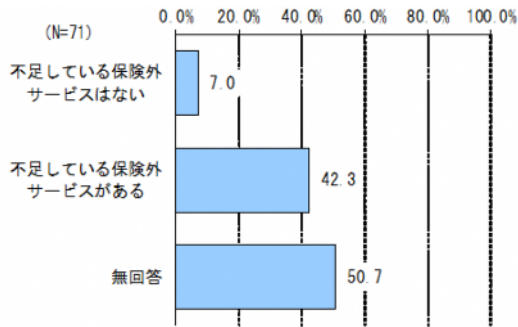
(N=76)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	9	11.8
訪問型サービスC(短期集中型)	3	3.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	2	2.6
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.6
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.6
通所型サービスC(短期集中型)	2	2.6
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	1.3
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.3

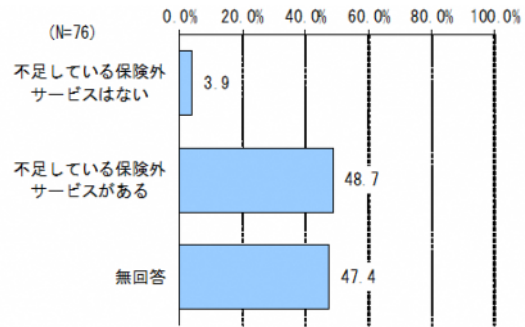
- 三田・三輪南圏域では「不足している保険外サービスがある」が42.3%となっており、前回調査と比べると6.4ポイント少なくなっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」（25.4%）が最も多く、前回調査に引き続き多くなっています。次ぐ「配食」「ゴミ出し」（14.1%）も前回調査に引き続き多くなっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	18	25.4
配食	10	14.1
ゴミ出し	10	14.1
見守り、声かけ	8	11.3
移送サービス(介護・福祉タクシー)	6	8.5
買い物	5	7.0
サロンなどの定期的な通いの場	5	7.0
その他	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

(N=76)

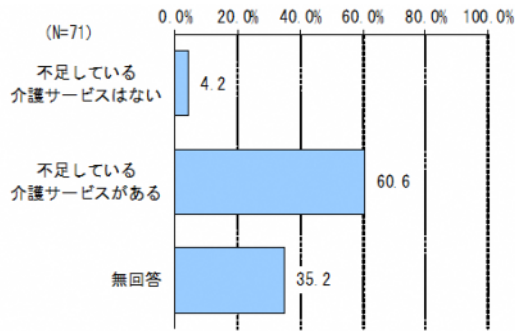
保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	17	22.4
ゴミ出し	13	17.1
見守り、声かけ	13	17.1
配食	9	11.8
買い物(宅配は含まない)	7	9.2
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.2
移送サービス(介護・福祉タクシー)	5	6.6
調理	1	1.3
掃除・洗濯	1	1.3

<三輪北・小野・高平圏域>

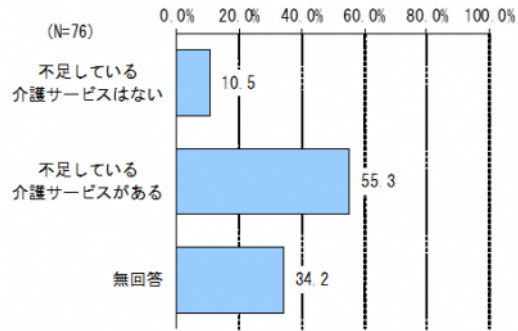
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している介護サービスがある」が60.6%となっており、前回調査と比べると5.3ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」(29.6%)が最も多く、次いで「通所介護」(28.2%)となっており、特に「訪問介護」(29.6%)は前回調査(17.1%)と比べて多くなっています。また、「訪問入浴介護」(14.1%)が前回調査(3.9%)と比べて多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	21	29.6
通所介護	20	28.2
通所リハビリテーション	11	15.5
訪問入浴介護	10	14.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	6	8.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
訪問看護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
居宅療養管理指導	2	2.8
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
居宅介護支援	2	2.8
認知症対応型通所介護	2	2.8
認知症対応型共同生活介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4

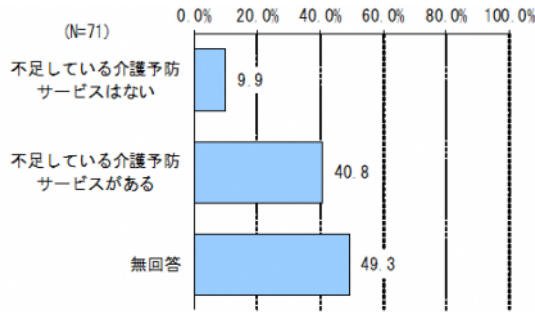
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
通所介護	17	22.4
通所リハビリテーション	16	21.1
訪問介護	13	17.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	14.5
訪問リハビリテーション	6	7.9
夜間対応型訪問介護	6	7.9
認知症対応型通所介護	5	6.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	5.3
訪問入浴介護	3	3.9
居宅療養管理指導	3	3.9
看護小規模多機能型居宅介護	3	3.9
介護老人福祉施設	3	3.9
介護老人保健施設	3	3.9
特定施設入居者生活介護	2	2.6
小規模多機能型居宅介護	2	2.6
認知症対応型共同生活介護	2	2.6
介護療養型医療施設・介護医療院	2	2.6
訪問看護	1	1.3
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.3
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.3

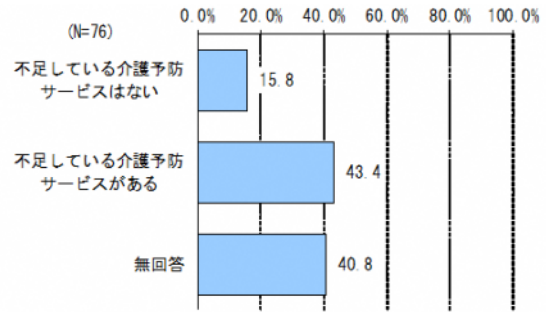
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している介護予防サービスがある」が 40.8%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション」(18.3%) が前回調査に引き続き最も多くなっています。次ぐ「介護予防支援」(8.5%) は前回調査(2.6%) と比べて多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	13	18.3
介護予防支援	6	8.5
介護予防訪問入浴介護	4	5.6
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	5.6
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	4.2
介護予防居宅療養管理指導	2	2.8
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.8
介護予防住宅改修	1	1.4

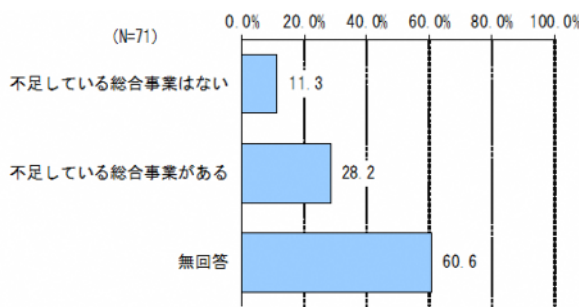
(N=76)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	15	19.7
介護予防訪問入浴介護	6	7.9
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	7.9
介護予防認知症対応型通所介護	5	6.6
介護予防訪問リハビリテーション	4	5.3
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	4	5.3
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	5.3
介護予防特定入居者生活介護	3	3.9
介護予防福祉用具貸与・購入	2	2.6
介護予防支援	2	2.6
介護予防訪問看護	1	1.3

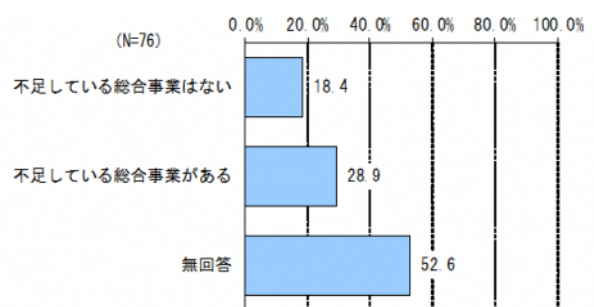
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している総合事業がある」が 28.2%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(14.1%) が最も多く、前回調査(7.9%) と比べて多くなっています。次ぐ「訪問型サービス A(基準緩和型)」「通所型サービス A(基準緩和型)」(8.5%) は前回調査に引き続き多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	10	14.1
訪問型サービスA(基準緩和型)	6	8.5
通所型サービスA(基準緩和型)	6	8.5
訪問型サービスB(生活支援型)	5	7.0
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	2	2.8
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.8

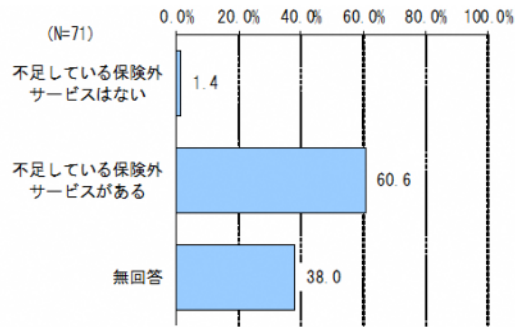
(N=76)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	9	11.8
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	6	7.9
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	6	7.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	4	5.3
通所型サービスA(基準緩和型)	4	5.3
訪問型サービスC(短期集中型)	3	3.9
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.6
通所型サービスC(短期集中型)	2	2.6

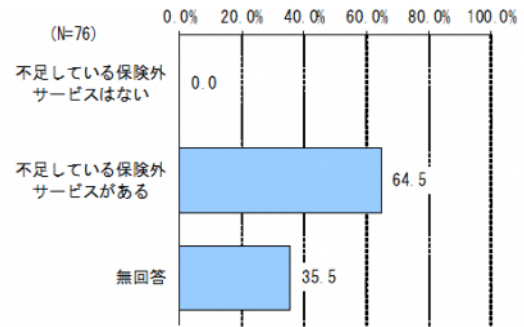
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している保険外サービスがある」が 60.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「配食」(31.0%) が最も多く、前回調査 (23.7%) と比べて多くなっています。次いで「ゴミ出し」「外出同行 (通院、買い物など)」となっており、前回調査に引き続き多くなっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
配食	22	31.0
ゴミ出し	19	26.8
外出同行(通院、買い物など)	17	23.9
買い物	13	18.3
移送サービス(介護・福祉タクシー)	10	14.1
見守り、声かけ	6	8.5
サロンなどの定期的な通いの場	6	8.5
その他	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

(N=76)

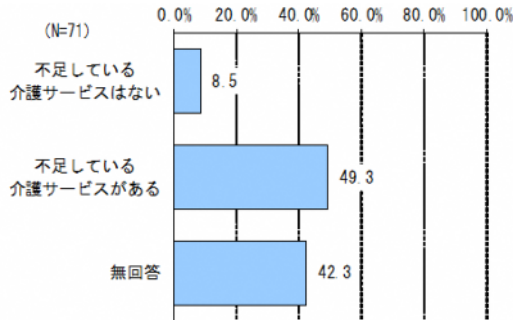
保険外サービス	件	3LA%
買い物(宅配は含まない)	21	27.6
配食	18	23.7
外出同行(通院、買い物など)	18	23.7
ゴミ出し	16	21.1
移送サービス(介護・福祉タクシー)	16	21.1
見守り、声かけ	12	15.8
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.2
調理	1	1.3
掃除・洗濯	1	1.3

<広野・本庄圏域>

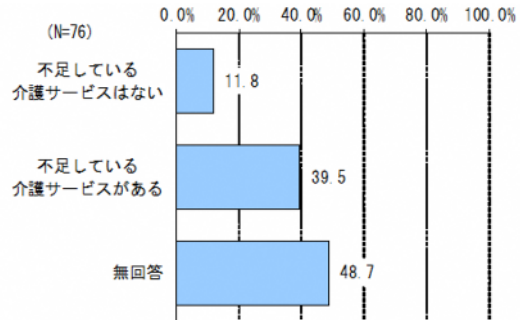
- 広野・本庄圏域では「不足している介護サービスがある」が 49.3%となっており、前回調査と比べると 9.8 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」(18.3%)が最も多く、次いで「訪問入浴介護」(15.5%)となっており、いずれも前回調査と比べて多くなっています。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(15.5%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	13	18.3
訪問入浴介護	11	15.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	15.5
通所介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
通所リハビリテーション	6	8.5
夜間対応型訪問介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
訪問リハビリテーション	3	4.2
居宅介護支援	2	2.8
認知症対応型通所介護	2	2.8
地域密着型通所介護	2	2.8
訪問看護	1	1.4
特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4

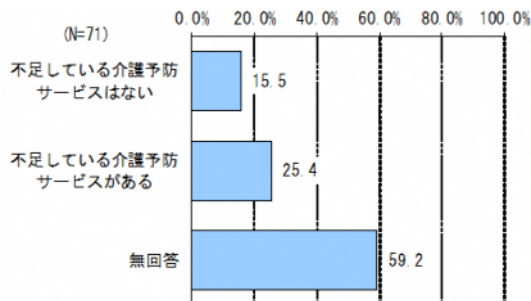
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	13	17.1
夜間対応型訪問介護	8	10.5
訪問介護	5	6.6
通所介護	5	6.6
訪問リハビリテーション	4	5.3
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	5.3
小規模多機能型居宅介護	4	5.3
訪問入浴介護	3	3.9
介護老人福祉施設	3	3.9
居宅療養管理指導	2	2.6
特定施設入居者生活介護	2	2.6
居宅介護支援	2	2.6
認知症対応型通所介護	2	2.6
認知症対応型共同生活介護	2	2.6
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.6
福祉用具貸与・購入	1	1.3
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.3

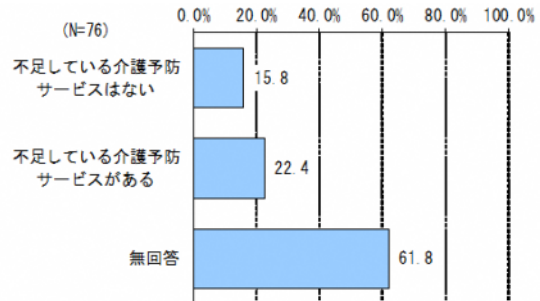
- 広野・本庄圏域では「不足している介護予防サービスがある」が25.4%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防支援」(7.0%)が最も多く、前回調査(2.6%)と比べてやや多くなっています。次ぐ「介護予防小規模多機能型居宅介護」(5.6%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	5	7.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	5.6
介護予防訪問入浴介護	3	4.2
介護予防通所リハビリテーション	3	4.2
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	4.2
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.4

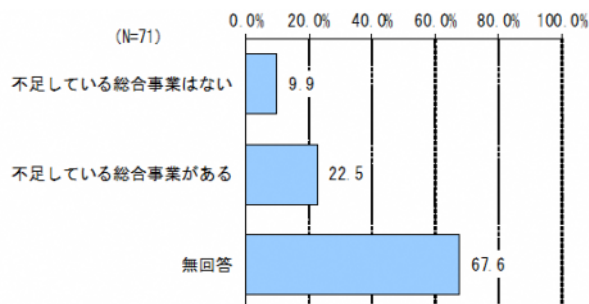
(N=76)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	5	6.6
介護予防小規模多機能型居宅介護	5	6.6
介護予防訪問リハビリテーション	4	5.3
介護予防特定入居者生活介護	3	3.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	3.9
介護予防訪問入浴介護	2	2.6
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	2	2.6
介護予防支援	2	2.6
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.6
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.3
介護予防住宅改修	1	1.3

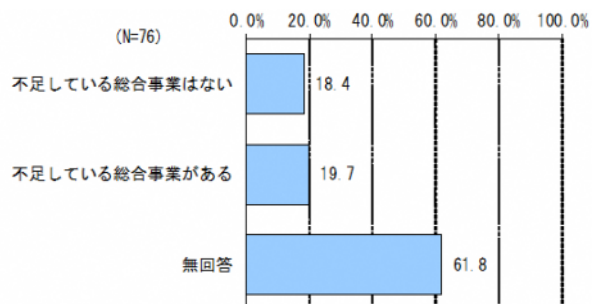
- 広野・本庄圏域では「不足している総合事業がある」が22.5%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(11.3%)が最も多く、前回調査(3.9%)と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	8	11.3
訪問型サービスA(基準緩和型)	4	5.6
訪問型サービスB(生活支援型)	4	5.6
通所型サービスA(基準緩和型)	4	5.6
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	3	4.2
通所型サービスB(生活支援型)	3	4.2

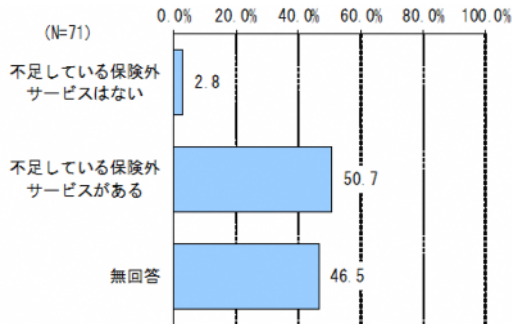
(N=76)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	8	10.5
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	3	3.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	3	3.9
訪問型サービスC(短期集中型)	3	3.9
通所型サービスA(基準緩和型)	3	3.9
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	2	2.6
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.6
通所型サービスC(短期集中型)	2	2.6

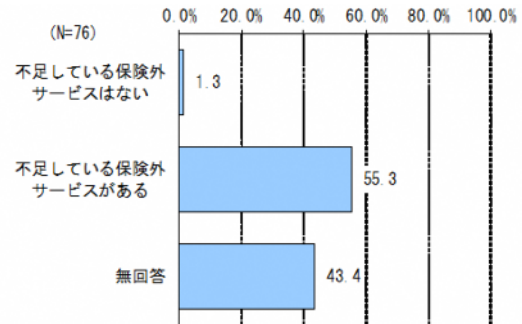
- 広野・本庄圏域では「不足している保険外サービスがある」が50.7%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」（25.4%）が前回調査に引き続き最も多くなっています。次ぐ「配食」（21.1%）「ゴミ出し」（19.7%）は前回調査と比べて多くなっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	18	25.4
配食	15	21.1
ゴミ出し	14	19.7
買い物	11	15.5
移送サービス(介護・福祉タクシー)	10	14.1
見守り、声かけ	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	5	7.0
その他	3	4.2
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

(N=76)

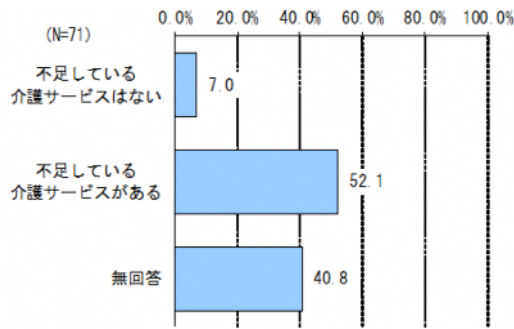
保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	18	23.7
買い物(宅配は含まない)	16	21.1
移送サービス(介護・福祉タクシー)	12	15.8
見守り、声かけ	11	14.5
配食	10	13.2
ゴミ出し	10	13.2
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.2
調理	1	1.3
掃除・洗濯	1	1.3

<藍圏域>

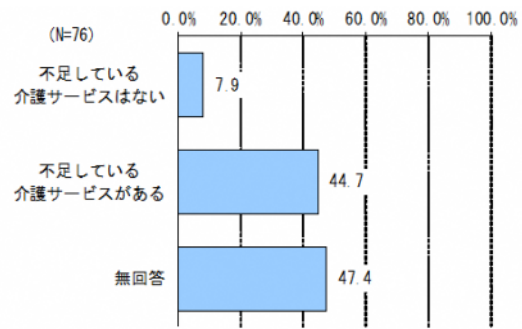
- 藍圏域では「不足している介護サービスがある」が 52.1%となっており、前回調査と比べると7.4ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(18.3%)が前回調査に引き続き最も多くなっています。次ぐ「訪問入浴介護」(15.5%)は前回調査(5.3%)と比べて多くなっています。また、「看護小規模多機能型居宅介護」(9.9%)が前回調査(2.6%)と比べて多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	13	18.3
訪問入浴介護	11	15.5
訪問介護	9	12.7
通所介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
夜間対応型訪問介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
居宅介護支援	4	5.6
通所リハビリテーション	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
訪問看護	1	1.4
特定施設入居者生活介護	1	1.4
認知症対応型共同生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4
介護医療院	1	1.4

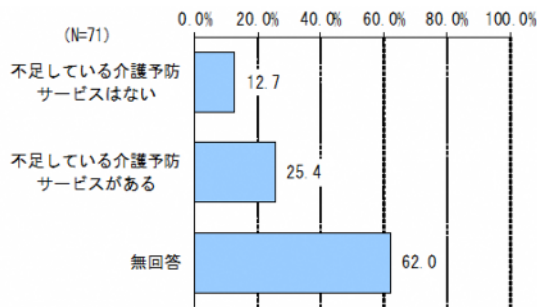
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14	18.4
夜間対応型訪問介護	10	13.2
訪問介護	6	7.9
通所介護	6	7.9
訪問リハビリテーション	5	6.6
訪問入浴介護	4	5.3
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	5.3
認知症対応型通所介護	4	5.3
小規模多機能型居宅介護	3	3.9
介護老人福祉施設	3	3.9
居宅療養管理指導	2	2.6
特定施設入居者生活介護	2	2.6
居宅介護支援	2	2.6
認知症対応型共同生活介護	2	2.6
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.6
訪問看護	1	1.3
福祉用具貸与・購入	1	1.3
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.3
地域密着型通所介護	1	1.3

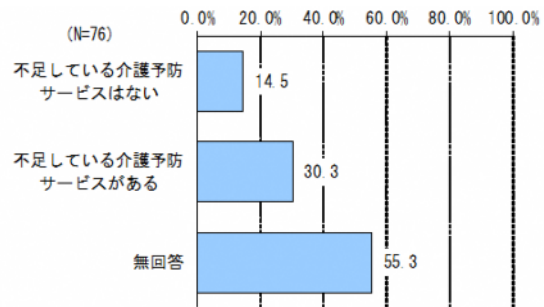
- 藍圏域では「不足している介護予防サービスがある」が25.4%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防支援」「介護予防小規模多機能型居宅介護」(8.5%)が最も多く、「介護予防支援」は前回調査(2.6%)と比べて多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	6	8.5
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	8.5
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	5.6
介護予防通所リハビリテーション	3	4.2
介護予防訪問入浴介護	2	2.8
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4

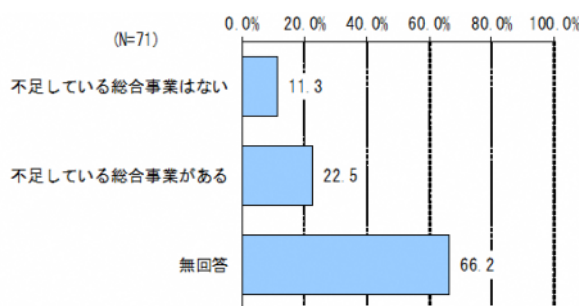
(N=76)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防訪問リハビリテーション	7	9.2
介護予防通所リハビリテーション	6	7.9
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	7.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	5.3
介護予防訪問入浴介護	3	3.9
介護予防特定入居者生活介護	3	3.9
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	2	2.6
介護予防支援	2	2.6
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.6
介護予防訪問看護	1	1.3
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.3

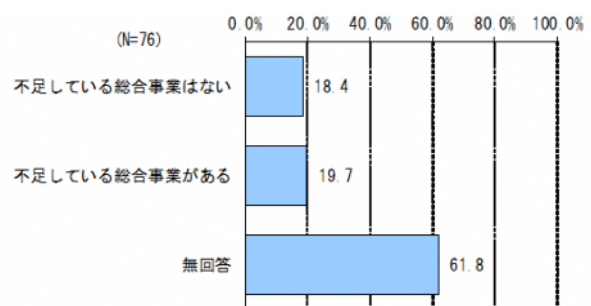
- 藍圏域では「不足している総合事業がある」が22.5%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(9.9%)が最も多く、前回調査(3.9%)と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	7	9.9
訪問型サービスB(生活支援型)	6	8.5
訪問型サービスA(基準緩和型)	4	5.6
通所型サービスA(基準緩和型)	3	4.2
通所型サービスB(生活支援型)	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.4

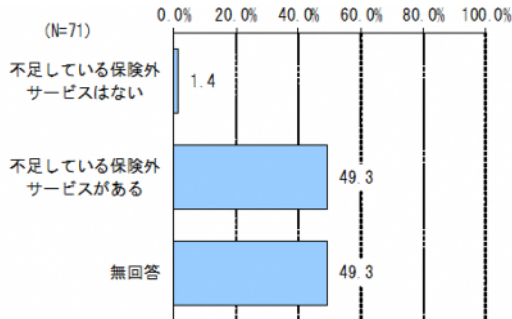
(N=76)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	9	11.8
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	3	3.9
訪問型サービスC(短期集中型)	3	3.9
通所型サービスA(基準緩和型)	3	3.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.6
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	2	2.6
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.6
通所型サービスC(短期集中型)	2	2.6

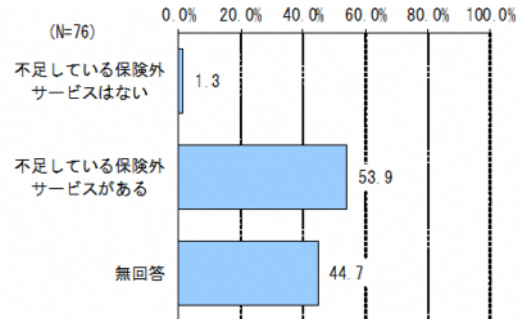
- 藍圏域では「不足している保険外サービスがある」が49.3%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」（28.2%）が前回調査に引き続き最も多くなっています。次ぐ「配食」（19.7%）は前回調査に引き続き多く、「ゴミ出し」（15.5%）は前回調査（10.5%）と比べて多くなっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)		
保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	20	28.2
配食	14	19.7
ゴミ出し	11	15.5
買い物	9	12.7
移送サービス(介護・福祉タクシー)	7	9.9
見守り、声かけ	6	8.5
その他	4	5.6
サロンなどの定期的な通いの場	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

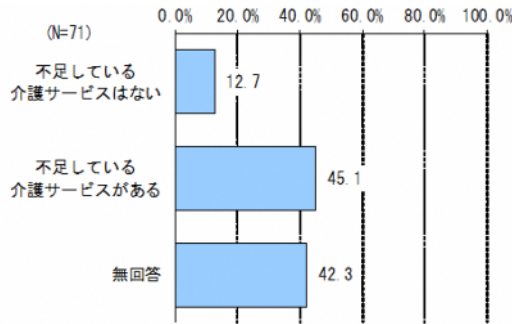
(N=76)		
保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	16	21.1
配食	14	18.4
買い物(宅配は含まない)	14	18.4
移送サービス(介護・福祉タクシー)	13	17.1
見守り、声かけ	12	15.8
ゴミ出し	8	10.5
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.2
調理	1	1.3
掃除・洗濯	1	1.3

<フラワー圏域>

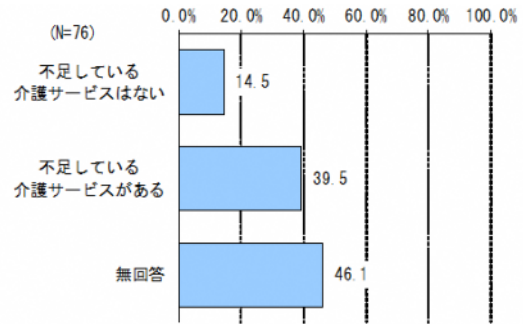
- フラワー圏域では「不足している介護サービスがある」が 45.1%となっており、前回調査と比べると 5.6 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問入浴介護」(15.5%) が最も多く、前回調査 (6.6%) と比べて多くなっています。次ぐ「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(12.7%) 「夜間対応型訪問介護」(11.3%) は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	11	15.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
訪問介護	6	8.5
通所リハビリテーション	5	7.0
訪問リハビリテーション	3	4.2
通所介護	3	4.2
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.2
居宅介護支援	3	4.2
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
認知症対応型通所介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4

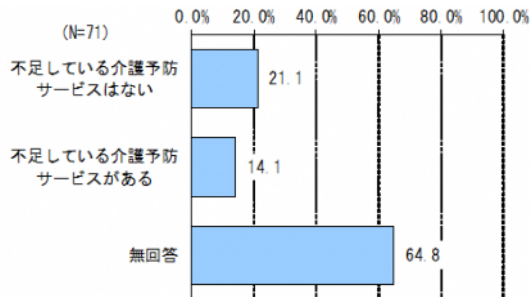
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	14.5
夜間対応型訪問介護	9	11.8
訪問リハビリテーション	6	7.9
訪問入浴介護	5	6.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	6.6
認知症対応型共同生活介護	5	6.6
通所リハビリテーション	4	5.3
認知症対応型通所介護	4	5.3
看護小規模多機能型居宅介護	4	5.3
介護老人福祉施設	4	5.3
特定施設入居者生活介護	3	3.9
訪問介護	2	2.6
居宅療養管理指導	2	2.6
小規模多機能型居宅介護	2	2.6
介護老人保健施設	2	2.6
福祉用具貸与・購入	1	1.3
介護療養型医療施設・介護医療院	1	1.3

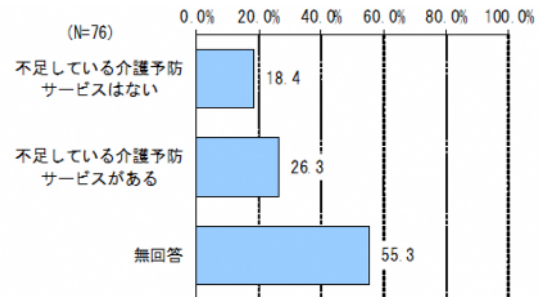
- フラワー圏域では「不足している介護予防サービスがある」が 14.1%となっており、前回調査と比べると 12.2 ポイント少なくなっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防認知症対応型通所介護」(5.6%) が前回調査に引き続き最も多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



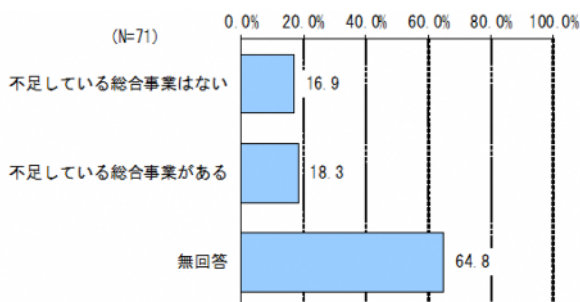
介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	4	5.6
介護予防支援	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.8
介護予防訪問入浴介護	1	1.4
介護予防通所リハビリテーション	1	1.4
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	6	7.9
介護予防通所リハビリテーション	5	6.6
介護予防小規模多機能型居宅介護	5	6.6
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	5.3
介護予防訪問入浴介護	3	3.9
介護予防特定入居者生活介護	3	3.9
介護予防訪問リハビリテーション	2	2.6
介護予防支援	2	2.6
介護予防訪問看護	1	1.3
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	1	1.3
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.3
介護予防住宅改修	1	1.3

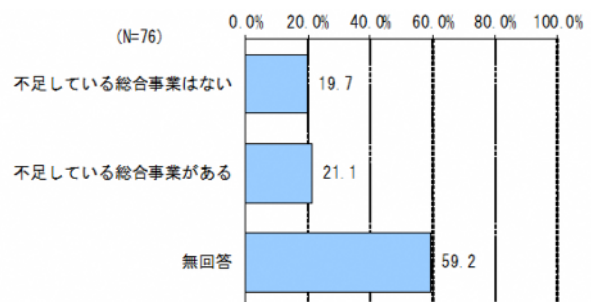
- フラワー圏域では「不足している総合事業がある」が 18.3%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(9.9%) が最も多く、前回調査(1.3%)と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



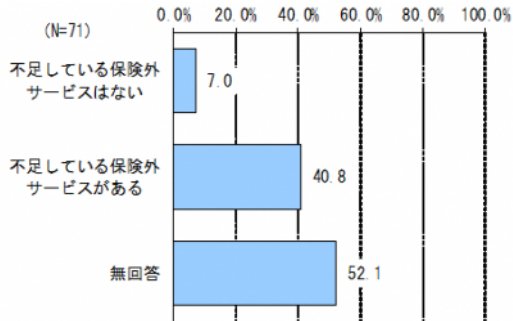
総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	7	9.9
訪問型サービスB(生活支援型)	4	5.6
通所型サービスA(基準緩和型)	4	5.6
訪問型サービスA(基準緩和型)	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	3	4.2
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.8

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	12	15.8
通所型サービスB(生活支援型)	6	7.9
通所型サービスA(基準緩和型)	4	5.3
訪問型サービスC(短期集中型)	3	3.9
通所型サービスC(短期集中型)	3	3.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	1	1.3
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	1.3
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.3

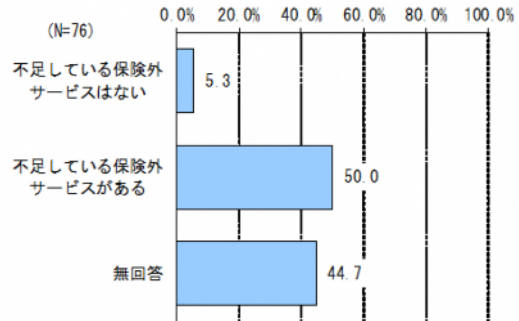
- フラワー圏域では「不足している保険外サービスがある」が 40.8%となっており、前回調査と比べると 9.2ポイント少なくなっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」（22.5%）が前回調査に引き続き最も多くなっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	16	22.5
移送サービス(介護・福祉タクシー)	9	12.7
配食	8	11.3
ゴミ出し	8	11.3
買い物	7	9.9
見守り、声かけ	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.9
掃除・洗濯	2	2.8
その他	2	2.8
調理	1	1.4

(N=76)

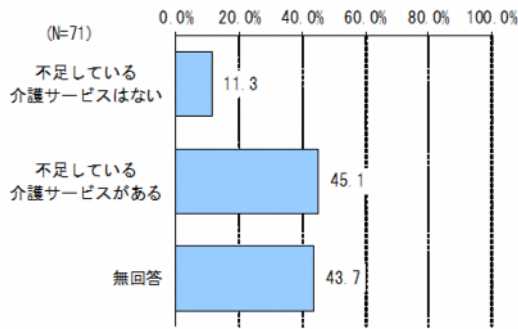
保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	23	30.3
見守り、声かけ	15	19.7
ゴミ出し	10	13.2
サロンなどの定期的な通いの場	8	10.5
移送サービス(介護・福祉タクシー)	7	9.2
配食	6	7.9
買い物(宅配は含まない)	6	7.9
調理	3	3.9
掃除・洗濯	1	1.3

<ウッディ・カルチャー圏域>

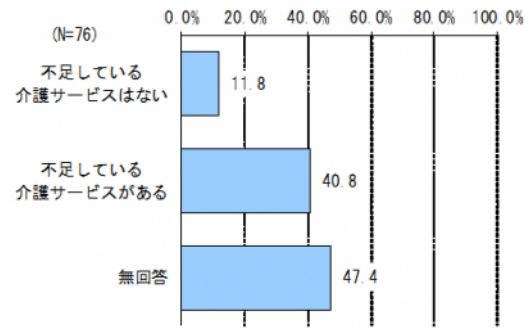
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している介護サービスがある」が 45.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問入浴介護」(18.3%) が最も多く、前回調査 (5.3%) と比べて多くなっています。次ぐ「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(12.7%) 「夜間対応型訪問介護」(9.9%) は前回調査に引き続き多く、「訪問介護」(8.5%) は前回調査 (1.3%) と比べて多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	13	18.3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	7	9.9
訪問介護	6	8.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	8.5
居宅介護支援	5	7.0
通所介護	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
通所リハビリテーション	2	2.8
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
介護老人福祉施設	1	1.4
介護老人保健施設	1	1.4

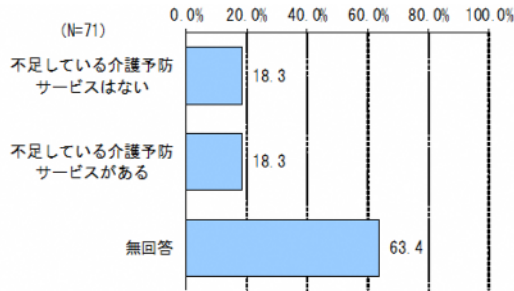
(N=76)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	14.5
夜間対応型訪問介護	8	10.5
訪問リハビリテーション	7	9.2
短期入所生活介護・短期入所療養介護	7	9.2
訪問入浴介護	4	5.3
認知症対応型通所介護	4	5.3
介護老人福祉施設	4	5.3
通所リハビリテーション	3	3.9
小規模多機能型居宅介護	3	3.9
認知症対応型共同生活介護	3	3.9
看護小規模多機能型居宅介護	3	3.9
居宅療養管理指導	2	2.6
特定施設入居者生活介護	2	2.6
介護老人保健施設	2	2.6
訪問介護	1	1.3
訪問看護	1	1.3
福祉用具貸与・購入	1	1.3
介護療養型医療施設・介護医療院	1	1.3

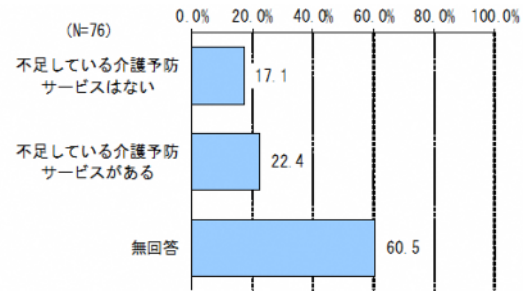
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している介護予防サービスがある」が 18.3%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防支援」(5.6%) が最も多く、次いで「介護予防認知症対応型通所介護」「介護予防小規模多機能型居宅介護」「介護予防認知症対応型共同生活介護」(4.2%) となっています。一方、前回調査では最も多かった「介護予防通所リハビリテーション」は 0.0% となっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	4	5.6
介護予防認知症対応型通所介護	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	4.2
介護予防訪問入浴介護	2	2.8
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4

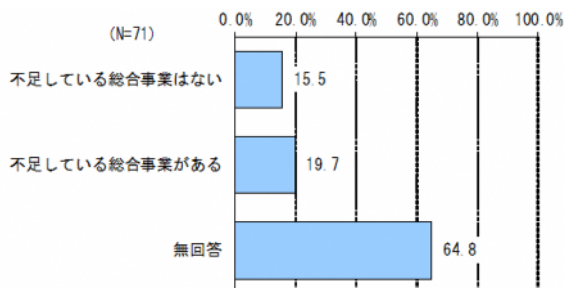
(N=76)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	4	5.3
介護予防認知症対応型通所介護	4	5.3
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	5.3
介護予防訪問入浴介護	3	3.9
介護予防訪問リハビリテーション	3	3.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	3.9
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	2	2.6
介護予防特定入居者生活介護	2	2.6
介護予防支援	2	2.6
介護予防住宅改修	1	1.3

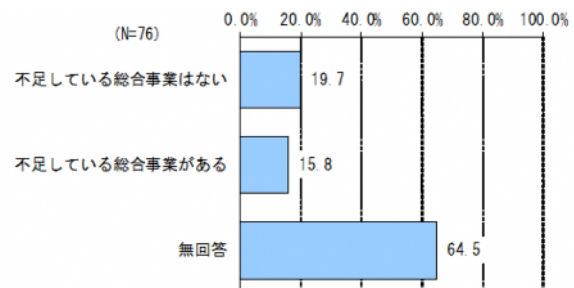
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している総合事業がある」が 19.7% となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)」「訪問型サービス B (生活支援型)」(8.5%) が最も多く、「介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)」は前回調査 (1.3%) と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)	6	8.5
訪問型サービス B (生活支援型)	6	8.5
訪問型サービス A (基準緩和型)	4	5.6
通所型サービス A (基準緩和型)	3	4.2
通所型サービス B (生活支援型)	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス (現行相当)	2	2.8
通所型サービス C (短期集中型)	1	1.4

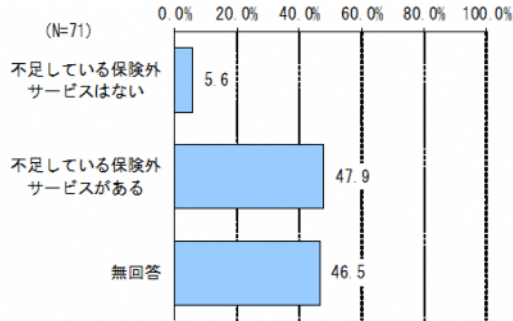
(N=76)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービス B (生活支援型)	9	11.8
訪問型サービス C (短期集中型)	3	3.9
通所型サービス A (基準緩和型)	2	2.6
通所型サービス B (生活支援型)	2	2.6
通所型サービス C (短期集中型)	2	2.6
介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)	1	1.3
訪問型サービス A (基準緩和型)	1	1.3
介護予防通所介護相当サービス (現行相当)	1	1.3

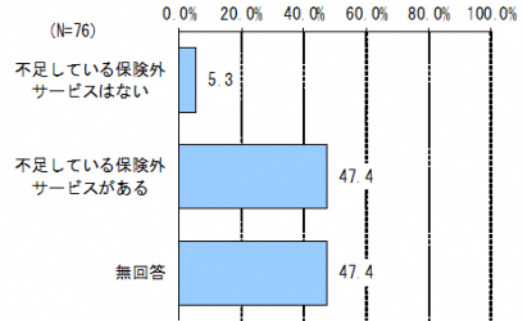
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している保険外サービスがある」が 47.9%となっています。
- 不足しているサービスは、前回調査に引き続き「外出同行（通院、買い物など）」(25.4%) が最も多く、次いで「ゴミ出し」(18.3%)「見守り、声かけ」(17.1%) となっています。

【保険外サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	18	25.4
ゴミ出し	13	18.3
見守り、声かけ	10	14.1
買い物	8	11.3
移送サービス(介護・福祉タクシー)	8	11.3
配食	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.9
その他	3	4.2
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

(N=76)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行(通院、買い物など)	20	26.3
ゴミ出し	13	17.1
見守り、声かけ	13	17.1
サロンなどの定期的な通いの場	8	10.5
買い物(宅配は含まない)	7	9.2
配食	6	7.9
移送サービス(介護・福祉タクシー)	5	6.6
調理	1	1.3
掃除・洗濯	1	1.3

<まとめ>

【圏域別 最も不足しているサービス】

圏域	介護サービス	介護予防サービス	総合事業	保険外サービス
三田・三輪南	訪問入浴介護	介護予防支援	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） 訪問型サービスB（生活支援型）	外出同行（通院、買い物など）
三輪北・小野・高平	訪問介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	配食
広野・本庄	訪問介護	介護予防支援	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	外出同行（通院、買い物など）
藍	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	介護予防支援 介護予防小規模多機能型居宅介護	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	外出同行（通院、買い物など）
フラワー	訪問入浴介護	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	外出同行（通院、買い物など）
ウッディ・カルチャー	訪問入浴介護	介護予防支援	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） 訪問型サービスB（生活支援型）	外出同行（通院、買い物など）

【不足している上位3サービスと特に不足している圏域】

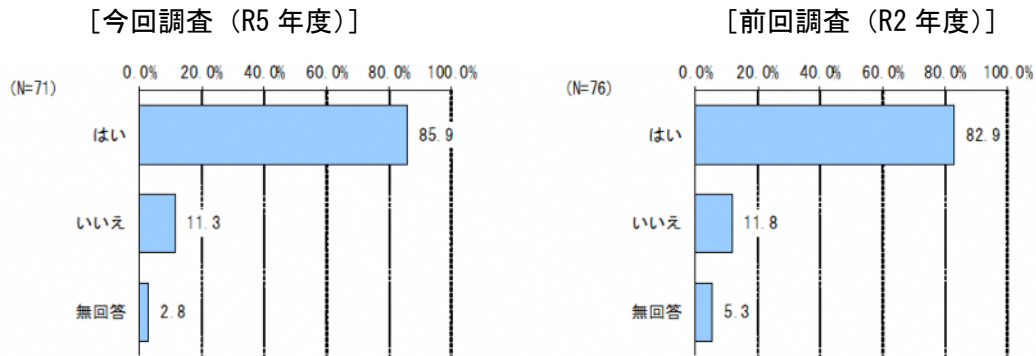
不足しているサービス			特に不足している圏域
介護サービス	1	訪問入浴介護	三田・三輪南、ウッディ・カルチャー
	2	訪問介護	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	3	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	広野・本庄、藍
介護予防サービス	1	介護予防支援	三田・三輪南、三輪北・小野・高平、藍
	2	介護予防小規模多機能型居宅介護	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	3	介護予防通所リハビリテーション	三輪北・小野・高平
総合事業	1	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	三輪北・小野・高平、広野・本庄
	2	訪問型サービスB（生活支援型）	三田・三輪南、藍、ウッディ・カルチャー
	3	訪問型サービスA（基準緩和型）	三輪北・小野・高平、三田・三輪南
保険外サービス	1	外出同行（通院、買い物など）	三田・三輪南、広野・本庄、藍、ウッディ・カルチャー
	2	配食	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	3	ゴミ出し	三輪北・小野・高平、広野・本庄、ウッディ・カルチャー

(3) インフォーマルなサービスの活用

●問 13 インフォーマルなサービスをプランに位置付けたことがありますか。(○は1つ)

○ インフォーマルなサービスの位置付けたことの有無について、「はい」が85.9%となっています。

【インフォーマルなサービスの位置付け】

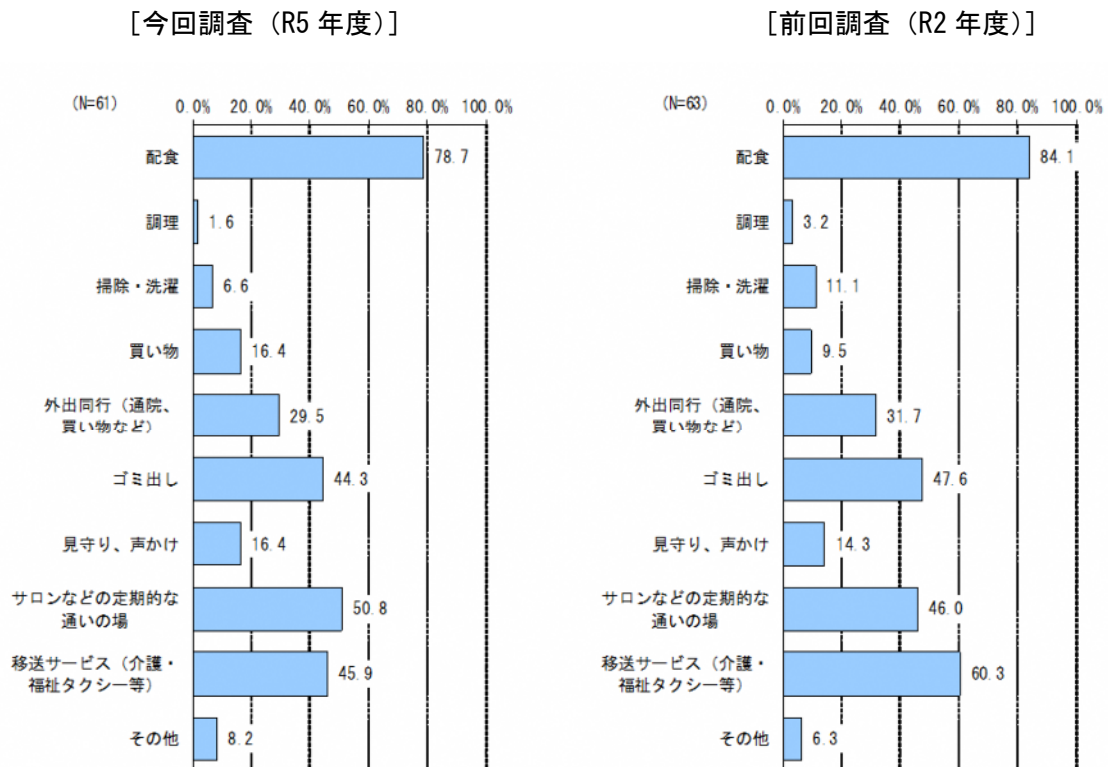


●問 13-1 問 13 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。あなたがケアプランの作成または見直し時に、位置付けたことのあるサービスは何ですか。(○はいくつでも)

○ 位置付けたことのあるサービスについて、「配食」が78.7%で最も多く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が50.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が45.9%、「ゴミ出し」が44.3%となっています。

○ 前回調査と比べると、「買い物」で5ポイント以上多くなっています。一方、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は10ポイント以上少なくなっています。

【位置付けたことのあるサービス (MA)】

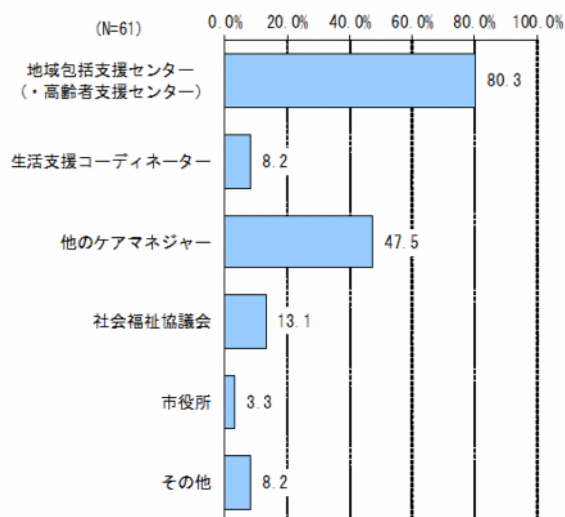


- 問 13-2 問 13 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。どこから情報を入手していますか。(○はいくつでも)

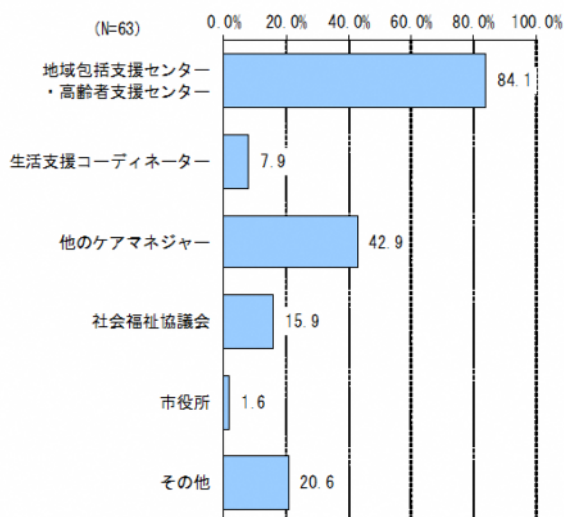
○ インフォーマルなサービスの情報入手先について、「地域包括支援センター（・高齢者支援センター）」が 80.3%で最も多く、次いで「他のケアマネジャー」が 47.5%、「社会福祉協議会」が 13.1%となっています。

【インフォーマルなサービスの情報入手先 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



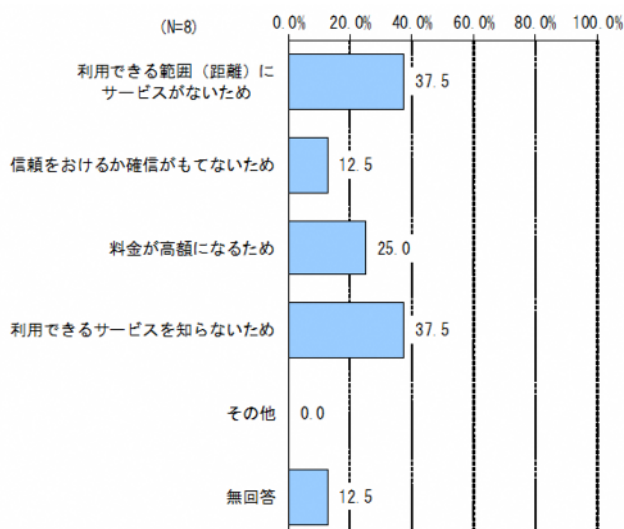
- 問 13-3 問 13 で「2. いいえ」を選んだ方にお伺いします。インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

○ インフォーマルなサービスを利用したことがない理由について、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」「利用できるサービスを知らないため」が 37.5%で最も多く、次いで「料金が高額になるため」が 25.0%となっています。

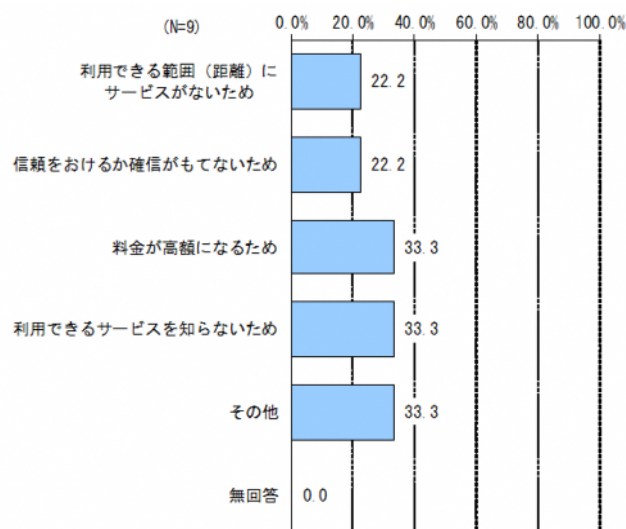
○ 前回調査と比べると、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」で 10 ポイント以上多くなっています。

【インフォーマルなサービスを利用したことがない理由 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



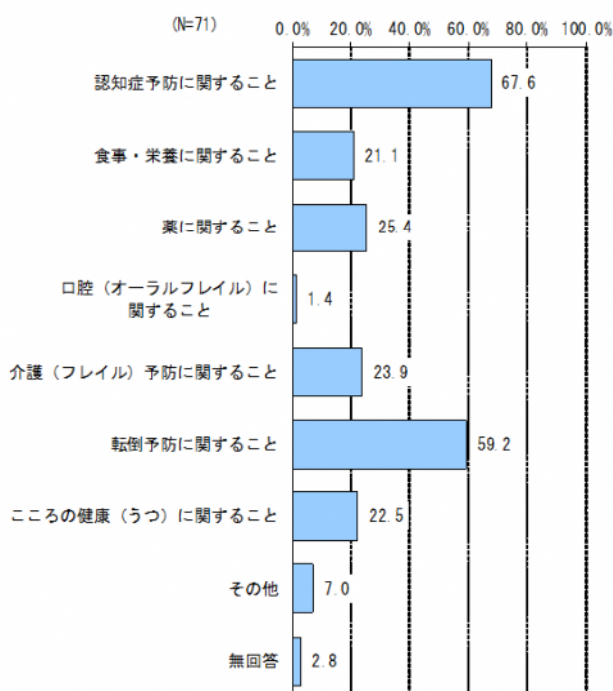
(4) 利用者が知りたいと感じていること

- 問 14 利用者が知りたいと感じていることについて、ニーズが高いものはどれですか。(○はいくつでも)

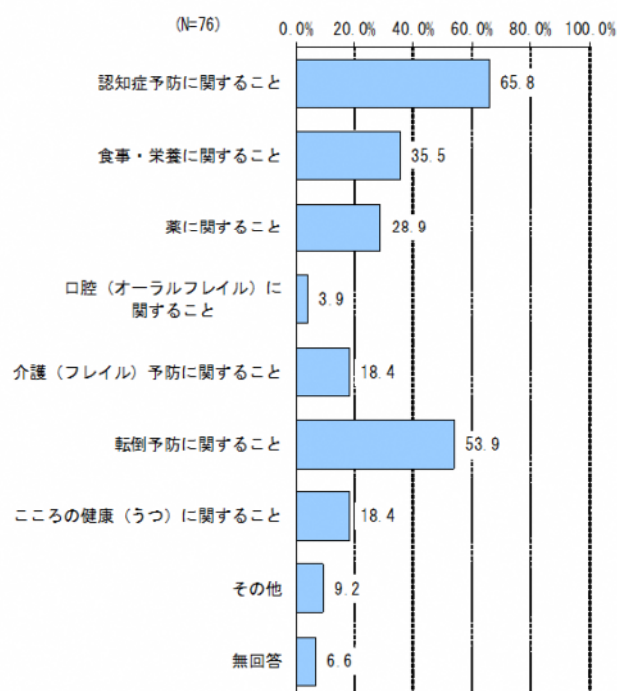
- 利用者が知りたいことについて、「認知症予防に関すること」が 67.6%で最も多く、次いで「転倒予防に関すること」が 59.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「介護（フレイル）予防に関すること」「転倒予防に関すること」で 5 ポイント以上多くなっています。一方、「食事・栄養に関すること」は 10 ポイント以上少なくなっています。

【利用者が知りたいこと (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(5) 認知症高齢者への支援

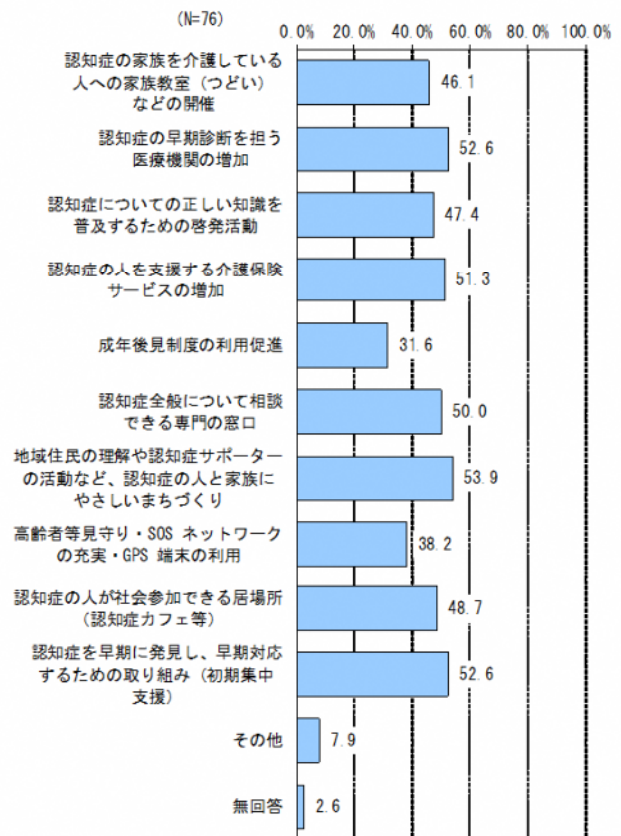
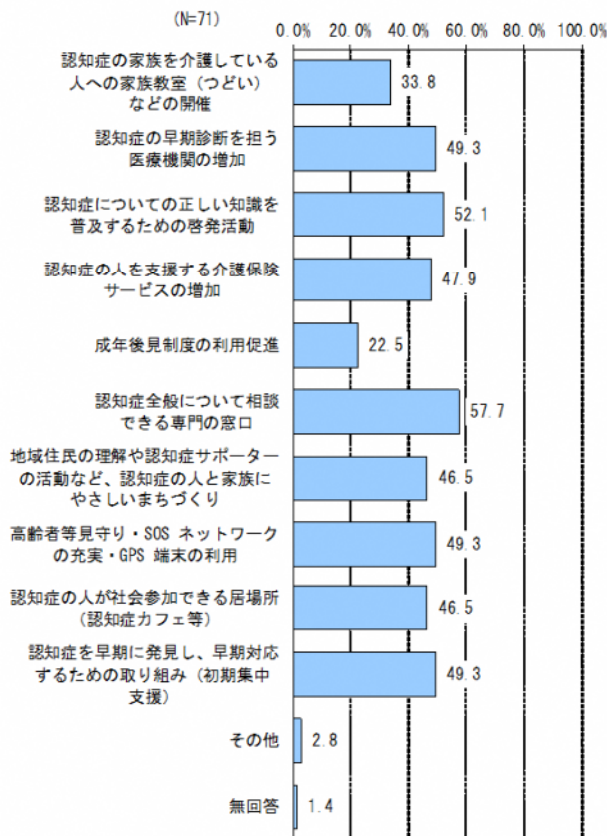
●問 15 認知症高齢者への支援で必要なことはどのようなことだと考えますか。(〇はいくつでも)

- 認知症高齢者への必要な支援について、「認知症全般について相談できる専門の窓口」が57.7%で最も多く、次いで「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が52.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「認知症全般について相談できる専門の窓口」「高齢者等見守り・SOSネットワークの充実・GPS 端末の利用」で5ポイント以上多くなっています。一方、「認知症の家族を介護している人への家族教室(つどい)などの開催」「成年後見制度の利用促進」で約10ポイント少なくなっています。

【認知症高齢者への必要な支援 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



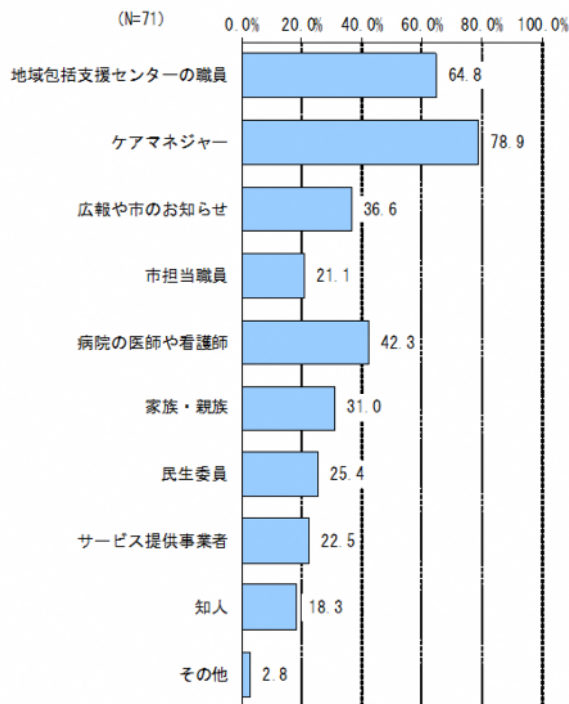
(6) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法

●問 16 高齢者福祉や介護保険に関する情報の入手方法は、次のどれ（だれ）が利用者にとってわかりやすいと思いますか。（○はいくつでも）

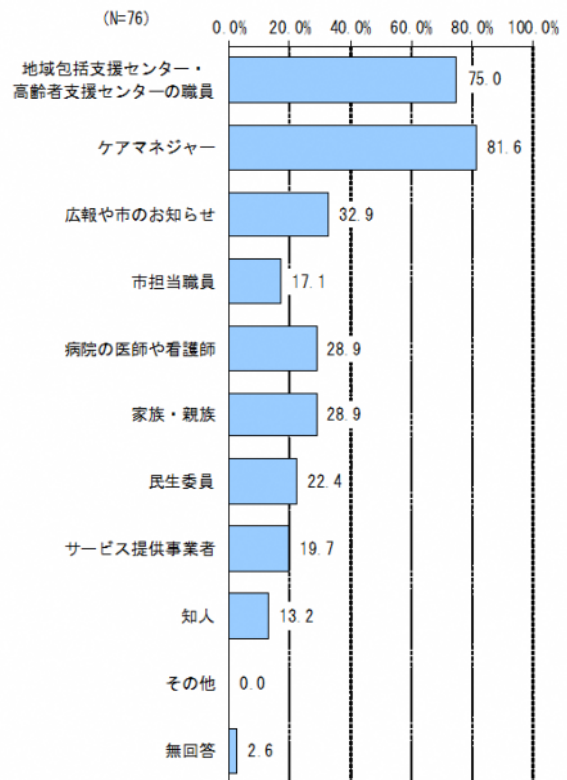
- 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法について、「ケアマネジャー」が78.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センターの職員」が64.8%、「病院の医師や看護師」が42.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「病院の医師や看護師」で10ポイント以上多くなっています。一方、「地域包括支援センターの職員」で10ポイント以上少なくなっています。

【利用者にとってわかりやすい情報の入手方法（MA）】

[今回調査（R5年度）]



[前回調査（R2年度）]



(7) 市の高齢者支援について

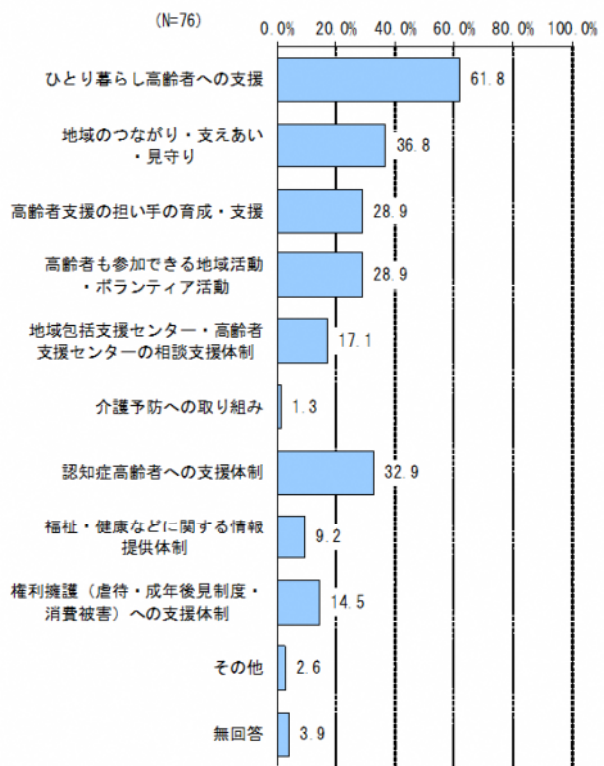
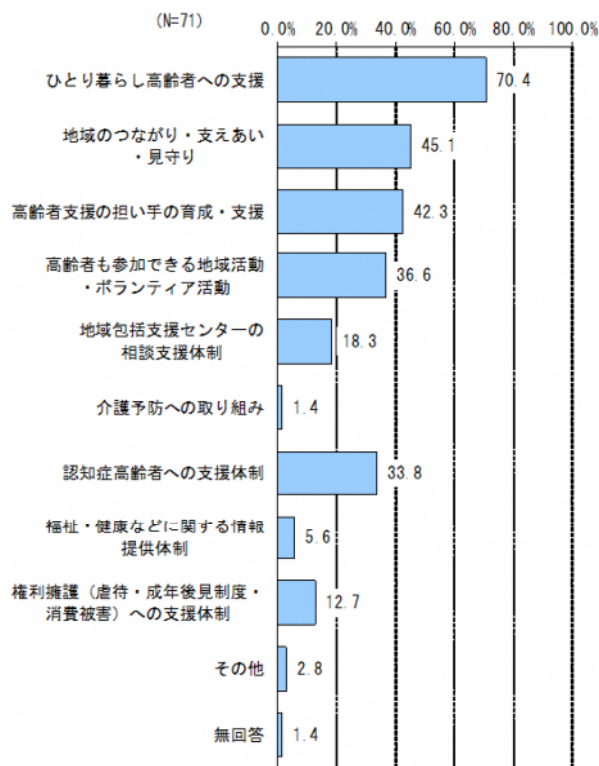
●問 17 ケアマネジャーの立場からみて、三田市の高齢者に対する支援について、不足していると感じているものは何ですか。(〇は3つまで)

- 不足している市の高齢者支援について、「ひとり暮らし高齢者への支援」が70.4%で最も多く、次いで「地域のつながり・支えあい・見守り」が45.1%、「高齢者支援の担い手の育成・支援」が42.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「ひとり暮らし高齢者への支援」「地域のつながり・支えあい・見守り」「高齢者支援の担い手の育成・支援」「高齢者も参加できる地域活動・ボランティア活動」で約10ポイント多くなっています。

【不足している市の高齢者支援 (3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



5. 各所との連携について

(1) わからないことや困ったこと

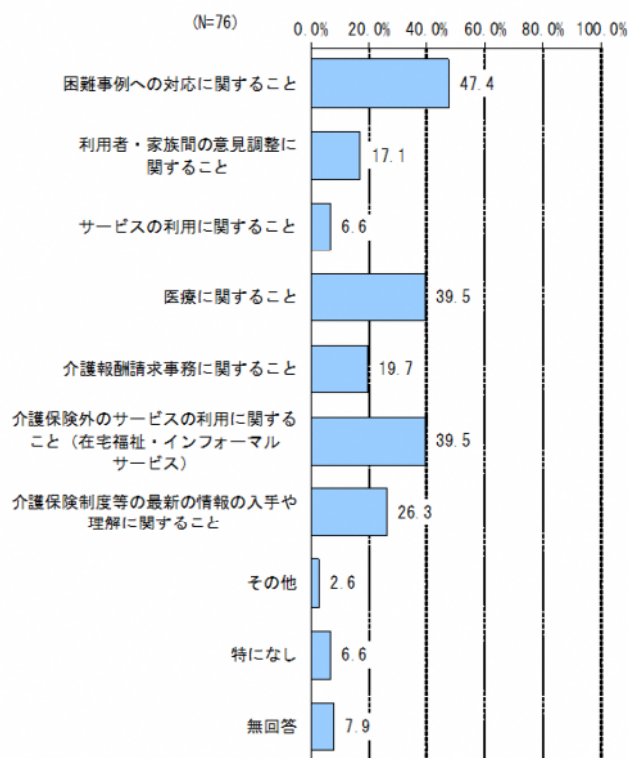
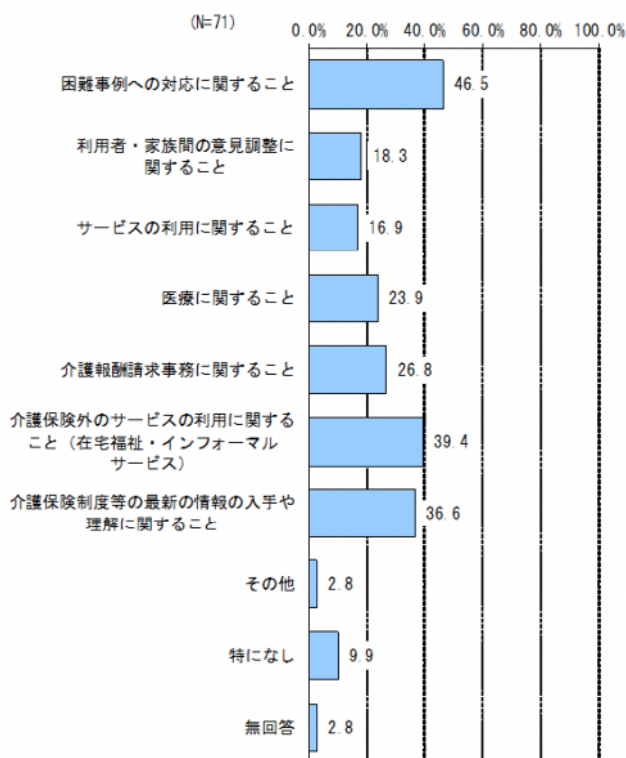
●問 18 業務上、わからないことや困ったことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 業務上わからないことや困ったことについて、「困難事例への対応に関すること」が46.5%で最も多く、次いで「介護保険外のサービスの利用に関すること（在宅福祉・インフォーマルサービス）」が39.4%、「介護保険制度等の最新の情報の入手や理解に関すること」が36.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「サービスの利用に関すること」「介護報酬請求事務に関すること」「介護保険制度等の最新の情報の入手や理解に関すること」で約10ポイント多くなっています。一方で、「医療に関すること」は10ポイント以上少なくなっています。

【業務上わからないことや困ったこと (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]

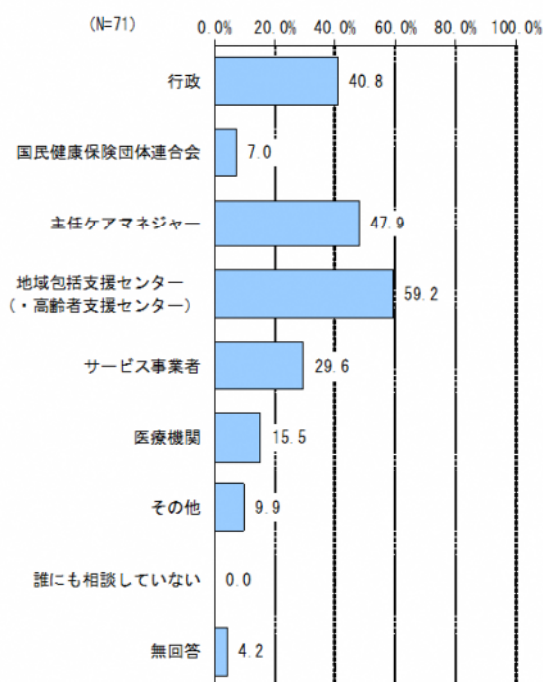


- 問 19 わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

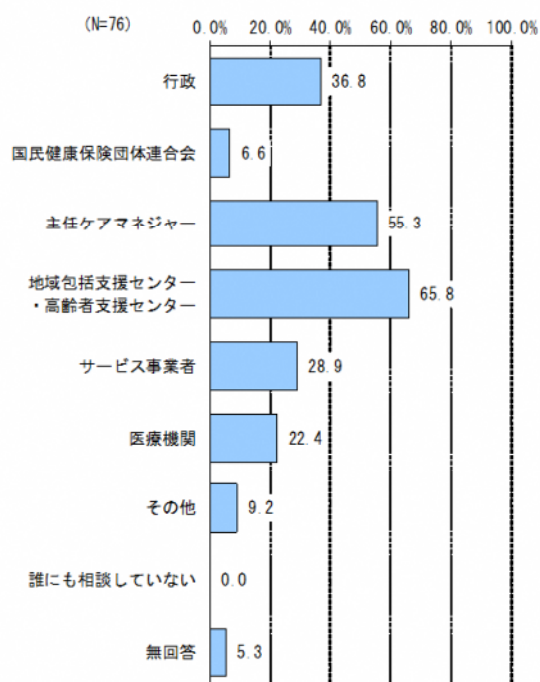
- わからないことや困ったことの相談先について、「地域包括支援センター（・高齢者支援センター）」が59.2%で最も多く、次いで「主任ケアマネジャー」が47.9%、「行政」が40.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「主任ケアマネジャー」「地域包括支援センター（・高齢者支援センター）」「医療機関」で5ポイント以上少なくなっています。

【わからないことや困ったことの相談先 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



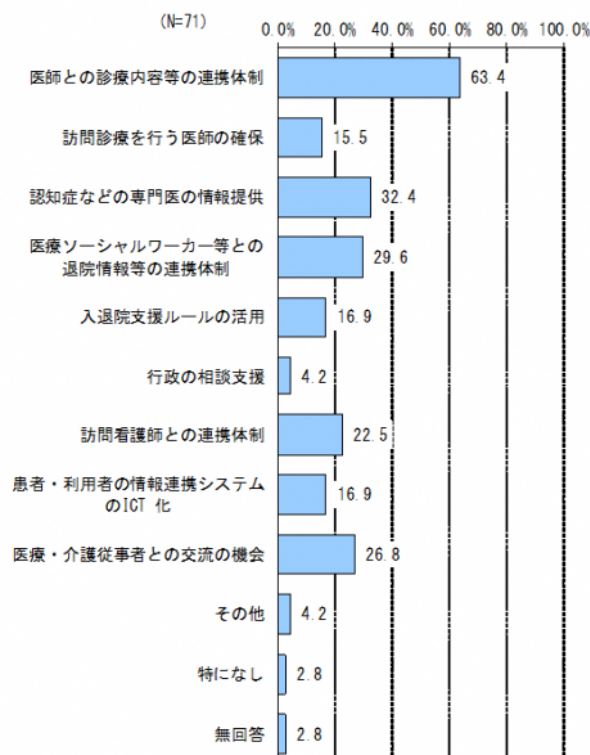
(2) 各所との連携

① 医療との連携

- 問 20 あなたは医療との連携を行う上でどのような点が課題だと思いますか。(○はいくつでも)

○ 医療との連携を行う上での課題について、「医師との診療内容等の連携体制」が63.4%で最も多く、次いで「認知症などの専門医の情報提供」が32.4%、「医療ソーシャルワーカー等との退院情報等の連携体制」が29.6%となっています。

【医療との連携を行う上での課題】



② 地域包括支援センターとの連携

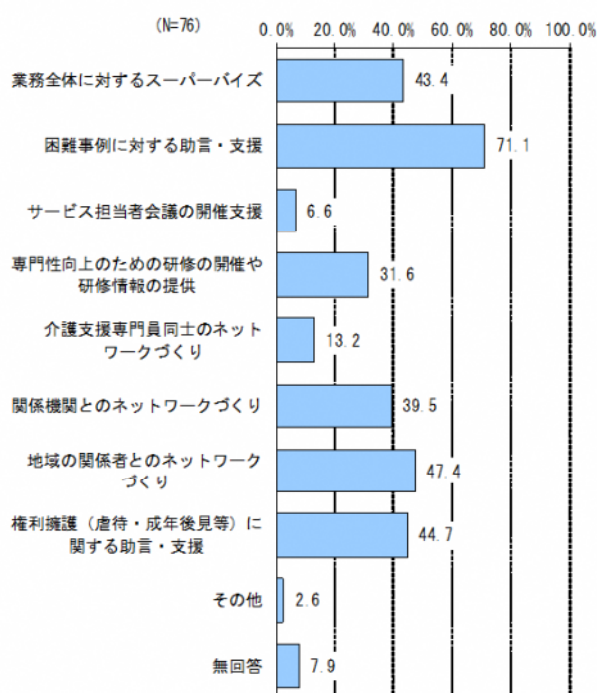
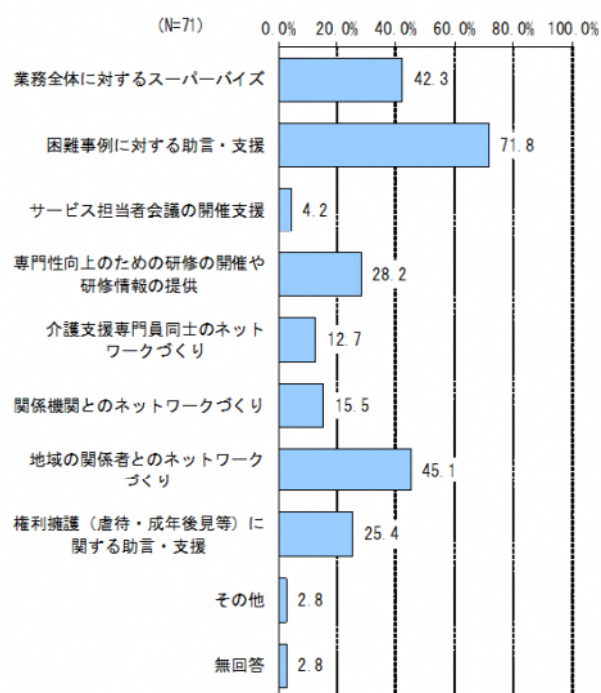
●問 21 地域包括支援センターにどのような役割を求めていますか。(○は3つまで)

- 地域包括支援センターに求めている役割について、「困難事例に対する助言・支援」が71.8%で最も多く、次いで「地域の関係者とのネットワークづくり」が45.1%、「業務全体に対するスーパーバイズ」が42.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「関係機関とのネットワークづくり」「権利擁護（虐待・成年後見等）に関する助言・支援」で約20ポイント少なくなっています。

【地域包括支援センターに求めている役割（3LA）】

[今回調査（R5年度）]

[前回調査（R2年度）]



※前回調査はいくつでも選択可

③ 市との連携

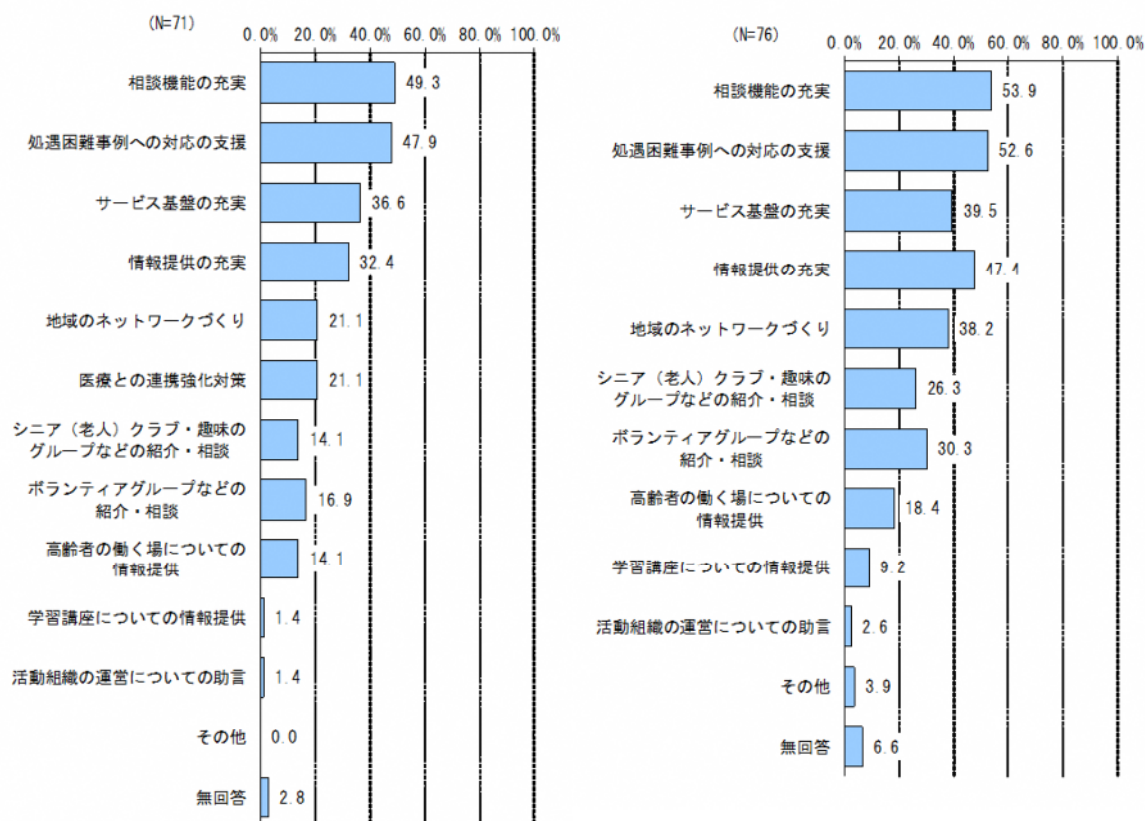
- 問 22 ケアマネジャーの立場から今後、市にどのような役割を求めていますか。(〇は3つまで)

- 市に求めている役割について、「相談機能の充実」が49.3%で最も多く、次いで「処遇困難事例への対応の支援」が47.9%、「サービス基盤の充実」が36.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「情報提供の充実」「地域のネットワークづくり」「シニア（老人）クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談」で10ポイント以上少なくなっています。

【市に求めている役割（3LA）】

[今回調査（R5年度）]

[前回調査（R2年度）]



※前回調査はいくつでも選択可